

教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和6年度実績)

令和7年12月

富田林市教育委員会

～ はじめに ～

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、『全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない』と規定されました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した令和6年度事業の内、主な事業を対象に点検・評価を行った結果をまとめたものです。

本市教育委員会では、今回の点検・評価の結果について、市議会に提出及び市民の皆様に公表することにより、今後の教育行政の推進、及び事務改善に活かすよう努めてまいります。

富田林市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 教育委員会の活動概況

(1)教育委員会委員名簿	4
(2)教育委員会会議	4
(3)その他の主な会議・研修・参加行事等	5～7

2. 教育に関する事務の点検・評価

(1)点検・評価の手法	8
(2)教育に関する事務の点検・評価シート	9～43
教育総務課	9～11
教育指導室	12～20
学校給食課	21～24
生涯学習課	25～29
文化財課	30～35
公民館	36～38
図書館	39～43
(3)点検・評価 未実施事業	43

3. 学識経験者等の意見

44～51

4. 資料編

53～68

【1. 教育委員会の活動概況】

(1)教育委員会委員名簿

(令和7年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	植 野 均	令和 6 年 12 月 7 日～令和 9 年 12 月 6 日
教育長職務代理者	水 本 哲 也	令和 5 年 10 月 1 日～令和 9 年 9 月 30 日
委 員	南 栄 子	令和 3 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日
委 員	森 田 幸 介	令和 4 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日
委 員	吉 田 郁	令和 6 年 10 月 1 日～令和 10 年 9 月 30 日

(2)教育委員会会議

区 分	日 程	付 議 案 件 等
4 月定例会	令和 6 年 4 月 25 日	令和7年度使用富田林市立小学校教科用図書の採択について(他9件)
5 月定例会	令和 6 年 5 月 23 日	富田林市就学相談推進委員会委員の委嘱・任命について(他6件)
6 月定例会	令和 6 年 6 月 27 日	富田林市余裕教室有効活用検討委員会委員の委嘱・任命について(他14件)
7 月定例会	令和 6 年 7 月 25 日	令和7年度使用教科用図書の採択について (他3件)
8 月定例会	令和 6 年 8 月 22 日	富田林市中学校給食に関わる検討骨子案について (他3件)
9 月定例会	令和 6 年 9 月 26 日	令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について(他3件)
10 月定例会	令和 6 年 10 月 31 日	富田林市中学校給食のあり方基本方針(素案)の作成及びパブリックコメントの実施について(他4件)
11 月定例会	令和 6 年 11 月 28 日	教育に関する事務の点検・評価報告書(案)について (他6件)
12 月定例会	令和 6 年 12 月 26 日	令和7年はたちのつどいの開催について (他4件)
1 月定例会	令和 7 年 1 月 30 日	令和7年度全国学力・学習状況調査について (他3件)
2 月定例会	令和 7 年 2 月 20 日	富田林市立幼稚園の今後の方針について (他7件)
3 月定例会	令和 7 年 3 月 27 日	第3期富田林市教育大綱(素案)について (他6件)

(3)その他の主な会議・研修・参加行事等

開催月	行事・会議名
令和 6 年 4 月	令和6年度富田林市教育方針説明会
	市立幼稚園入園式・市立小学校入学式・市立中学校入学式
	大阪府都市教育長協議会総会・定例会
	富田林市少年スポーツ連盟総会
	富田林市体育協会総会
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	富田林市レクリエーション協会総会
	富田林市スポーツ推進委員協議会総会
	富田林市野外活動協会総会
	第50回富田林市長杯争奪少年軟式野球大会開会式
令和 6 年 5 月	富田林市青少年指導員連絡協議会総会
	大阪府都市教育長協議会総会
	第72回富田林市民体育大会開会式
	教科用図書選定委員会
	富田林寺内町をまもり・そだてる会定期総会
	富田林市文化団体協議会理事総会
	中学校給食会理事会
	小学校給食会理事会
	学校管理職選考委員会
	全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会
令和 6 年 6 月	地域児童の安全確保活動
	第4期若者会議事前説明会
	学校教育田視察
	教科用図書選定委員会
	就学相談推進委員会
	総合教育会議
	学校管理職選考委員会
令和 6 年 7 月	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	大阪府都市教育長協議会総会
	大阪・関西万博説明会
	教科書採択事務連絡会議

開催月	行事・会議名
令和 6 年 7 月	富田林市立学校給食センター運営委員会
	富田林いじめ問題対策委員会
	生徒会サミット
	富田林市立図書館協議会
	民間業務委託水泳教室視察
	富田林市社会教育委員会議
	大阪府都市教育長協議会夏季研修会
	富田林市立公民館運営審議会
	富田林市文化財保護審議会
	富田林市文化財保存活用地域計画策定協議会
令和 6 年 8 月	平和を考える戦争展
	第50回富田林市長杯争奪少年軟式野球大会閉会式
	富田林市子ども文庫連絡会要望
	大阪府都市教育長協議会定例会
	小学校見守り活動
令和 6 年 9 月	富田林市長杯少年サッカー大会
	2024富田林ドリームフェスティバル
	第4期若者会議施策提案
	第35回富田林市民スポーツ・レクリエーション祭
	小学校見守り活動
	各高校文化祭視察
	柏原市立中学校屋内運動場空調設備視察
令和 6 年 10 月	大阪府都市教育長協議会定例会
	幼稚園運動会視察
	中学校運動会視察
	中学校ランチボックス試食会視察
	市民文化祭茶華道大会
	近畿都市教育長協議会研究協議会研修会
	南河内地区教育長協議会研修会
	富田林小学校復興米稲刈り
	総合教育会議
令和 6 年 11 月	小学校運動会視察
	南河内地区市町村教育委員会研修会
	連合音楽会視察

開催月	行事・会議名
令和 6 年 11 月	市表彰式
	大阪府都市教育長協議会秋季研修会
	小学生サミット
	農業祭・防災フェア
	金剛バル・イルミ点灯式
	公民館まつり
	MEET富田林コンクール表彰式
	こども作品展視察
令和 6 年 12 月	第74回富田林市民マラソン大会
	すばる第九シンフォニー2024視察
	富田林市スポーツ推進計画策定委員会
	「スポーツ推進について市長・教育長と話そう」懇談会
	こどもの未来のシンポジウム
令和 7 年 1 月	富田林市少女合唱団第53回定期演奏会視察
	富田林市はたちのつどい
	国際平和ポスターコンテスト表彰式
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	大阪府都市教育長協議会定例会
	各高校と交流会
令和 7 年 2 月	富田林市伝統的建造物群保存審議会
	とっぴーと読もう！読書感想文表彰式
	こどもまんなか推進本部会議
	富田林市立図書館協議会
	総合教育会議
	各高校卒業式
令和 7 年 3 月	第72回富田林市民体育大会剣道の部
	第44回富田林市長杯少年剣道大会
	市立幼稚園卒園式・市立小学校卒業式・市立中学校卒業式
	富田林市社会教育委員会議
	じないまち雛めぐり
	富田林市公民館運営審議会

【2. 教育に関する事務の点検・評価】

（1）点検・評価の手法

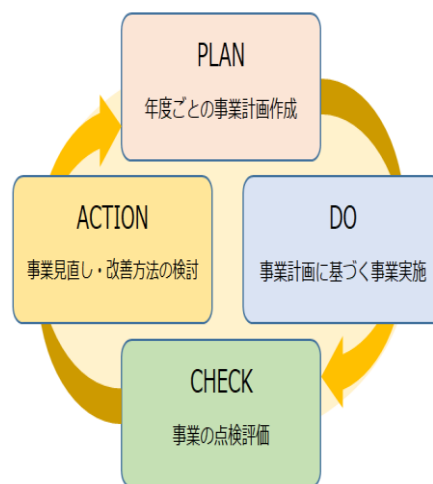
本市では、平成29年度からの10年間を期間とした、めざすべきまちの将来像 《ひとがきらめく！ 自然がきらめく！ 歴史がきらめく！ みんなでつくる 笑顔あふれるまち 富田林》等を掲げた「総合ビジョン」、並びに将来像の実現に向けて必要な施策を示す「総合基本計画」を策定しました。

「総合基本計画」を着実に推進し、めざすべきまちの将来像の実現につなげるため、計画に基づき、事業実施・点検評価・検証改善を図っていくものとしております。

また、本年9月に策定した「第3期富田林市教育大綱」では、第2期に引き続き「夢と希望が輝き、笑顔あふれるまち 富田林」を基本理念としたうえで、6つの基本方針【①子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図ります。②子どもたちの安全、安心を最優先し、保護者・地域からも信頼される「学校園づくり」に努めます。③地域、関係機関との連携を深めることで、家庭と地域の活力・教育力の向上を図ります。④生涯にわたり、豊かな人生が送れるよう、生涯学習環境づくりを推進します。⑤市民一人ひとりが健康で充実した生活が送れるよう、市民の文化芸術・スポーツの推進を図ります。⑥歴史・文化と共に生き、歩むまちづくりに努めます。】を重点的に取組むものとしています。

「教育に関する事務の点検・評価報告書」の作成にあたっては、「総合ビジョン」、「総合基本計画」に基づき、教育委員会各所管課で実施している事務事業のうち、主要な事務事業を抜粋し、「教育に関する事務の点検・評価シート」にて検証を行い、作成しました。

「教育に関する事務の点検・評価シート」では、総合基本計画での施策体系を示し、各事務事業についての目的、概要、令和6年度の主な実施内容（令和11年度の成果指標 / 目標値）を記載したうえで点検・評価を行い、その結果から抽出された課題等を考察し、その対応策等今後の方向性を示しております。



さらに、教育に関し学識経験を有する者の知見を図るため、二人の学識経験者と各事業における意見交換を実施し、所見をいただき、本報告書を取りまとめました。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育総務課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	小学校施設改修事業・中学校施設改修事業・幼稚園施設改修事業	
事業目的	学校園施設は、子どもたちの学習・生活の場であり、安全かつ安心な施設環境を確保することが重要であるため、経年劣化による施設の老朽化改修、電気・給排水設備等改修を行い、教育環境の改善を図る。	
事業概要	学校園施設の改修を行い、安全かつ安心な教育環境の確保を図る。	
令和 6 年度の 主な実施内容 令和 11 年度 ■成果指標 / 目標値 施設瑕疵による 事故発生件数 0 件	喜志小学校体育館屋上防水改修工事  第二中学校体育館屋上防水改修工事  葛城中学校校舎屋上防水改修工事  小金台小学校校舎外壁・屋上防水改修工事 	・喜志小学校・第二中学校・葛城中学校の校舎及び体育館において、広範囲に劣化と判断された屋根屋上防水改修を実施。体育館については断熱仕様の防水改修を実施。 ・小金台小学校の校舎において、老朽化した外壁及び屋上防水の改修を実施。 ・小学校2校・中学校2校の消防・防火設備改修工事を実施。 ・喜志中学校外壁・屋上防水等改修設計業務を実施。 ・喜志小学校、東条小学校、高辺台小学校、伏山台小学校、藤沢台小学校の5校において、地域総合拠点(みなよる)整備を実施。

点検・評価 令和6年度 ■実績値 0件	・富田林市学校教育施設長寿命化計画で実施した老朽化状況調査において、早期対応が必要、もしくは広範囲に劣化と判断された学校園施設について、安全性の確保を最優先に校舎・体育館の屋根屋上防水改修、外壁改修等を実施することができた。 ・喜志中学校外壁・屋上防水等改修設計業務を実施し、次期改修工事の備えができた。 ・消防・防火設備改修工事を実施し、機能回復を図ることができた。 ・余裕教室等を地域の主体的かつ継続的な交流を図り、地域福祉の増進及び生涯学習の充実並びに地域が抱える課題の解決に寄与することを目的とした地域総合拠点(みなよる)は16小学校区すべてにおいて整備が完了した。 伏山台小学校 地域総合拠点整備工事  高辺台小学校 地域総合拠点整備工事 
課題	富田林市学校教育施設長寿命化計画において、早期対応が必要である、もしくは広範囲に劣化と判断された学校園施設について、現在、安全性の確保を最優先に屋根屋上防水改修、外壁改修等を実施しており、内装改修や電気・給排水設備等の改修についても早期に着手する必要がある。 今後は普通教室棟等の非構造部材(天井、ガラス、照明器具)の耐震化対策についても学校教育施設の長寿命化改修を実施する際に、併せて検討していく必要がある。
今後の方向性	今後も学校教育施設の維持・更新については、トータルコストの縮減、予算の平準化を図りながら効率的・効果的に進めていく。 学校教育施設の長寿命化改修を実施する際に、普通教室棟等の非構造部材(天井、ガラス、照明器具)の耐震化対策、内装改修や電気・給排水設備等の改修についても早期に着手に向けて進めていく。 また、各小学校区の児童・生徒数の推移を見極めながら減築や機能統合についても検討していく。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育総務課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策3	学校園における教育の充実

事務事業	小学校大規模改造事業・中学校大規模改造事業										
事業目的	教育内容・方法の多様化や法令等に適合させるための改造工事、内部環境の改善を図る改造工事等を実施することで、児童・生徒の教育環境の充実を図る。										
事業概要	年次計画に基づき、老朽化したトイレ設備等について、設計委託、並びに工事を実施する。										
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 第3期改修計画に おけるトイレ洋式 化率 小学校 中学校	【小・中学校トイレ改修事業計画】 伏山台・小金台小学校・第一中学校のトイレ洋式化・乾式化改修、並びに水栓器具の非接触型(センサー式)改修、及び照明器具のLED化・非接触型(センサー式)改修を実施。また、次年度工事計画の彼方・錦郡小学校・金剛中学校トイレ改修設計業務を実施。 【各校のトイレ改修箇所数】 伏山台小学校:4箇所 小金台小学校:4箇所 第一中学校 :4箇所										
	 伏山台小学校										
点検・評価 令和6年度 ■実績値 小学校 中学校	【第3期トイレ改修事業の経過：令和4年度から、小学校2校・中学校1校のトイレ改修工事】 ・小学校2校・中学校1校の校舎2箇所、屋内運動場1箇所を改修整備することができた。 ・児童・生徒の良好な教育環境の整備に努めるとともに、財源面では、国の学校施設環境改善交付金(3分の1)を積極的に活用することで一般財源の削減に努めることができた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和3年度</th><th>令和6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校洋式化率</td><td>34.3%</td><td>47.0%</td></tr> <tr> <td>中学校洋式化率</td><td>34.9%</td><td>46.5%</td></tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和6年度	小学校洋式化率	34.3%	47.0%	中学校洋式化率	34.9%	46.5%
	令和3年度	令和6年度									
小学校洋式化率	34.3%	47.0%									
中学校洋式化率	34.9%	46.5%									
課題	令和4年度からの第3期トイレ改修事業計画では、令和11年度に洋式化率61.3%となるが、学校施設全体のトイレ洋式化率は依然として低いことから、更なる洋式化を図るため、引き続き事業を継続していく必要があり、第4期トイレ改修事業にて目標の達成において財源の確保が課題である。										
今後の 方向性	今後も学校施設環境改善交付金を積極的に活用することで財源の確保に努めるとともに、学校教育施設の長寿命化を考慮しながら改修を継続していく。 災害時に避難場所となる屋内運動場のトイレについても洋式化を進めるとともに、バリアフリー化についても取り組んでいく。										

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

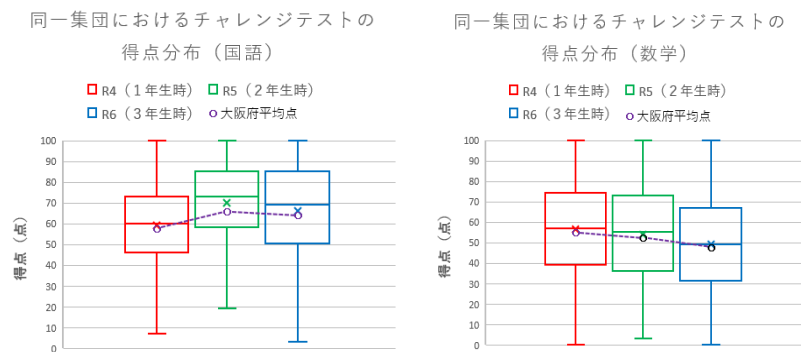
【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	学校体制構築支援事業
事業目的	児童生徒及び保護者に対する支援や学校教職員への支援を進めるとともに、生徒指導上の課題や学校課題の未然防止・解決に努めるため、学校体制構築に係る人材の配置や派遣を行い、学校教育活動の充実を図る。
事業概要	児童生徒及び保護者支援、学校課題解決のための支援人材(SSW・市費講師等)を配置するとともに、学校教育活動の充実を図るための人材(部活動指導員・学校司書・日本語指導員等)を配置する。
令和6年度の 主な実施内容	35人以下の学級編制や少人数指導を行えるよう、市費による加配教員を中学校に8名配置した。 <u>SSW</u> を小学校に4名配置し、児童生徒支援・保護者支援を実施した。また、配置校以外に校区中学校に巡回を行うことで充実した支援につなげることができた。また、市として不登校児童生徒の学習支援・体験活動や保護者も対象とした教育相談等を行う <u>教育支援センター</u> を開室するとともに、 <u>スペシャルサポートルーム</u> を全中学校に開室し、支援体制の充実を図った。加えて小学校への拡充を図り、不登校児童生徒の新たな居場所を確保するための体制充実に努めた。
令和11年度 ■成果指標 / 目標値 「学校に来るのが 楽しい」の肯定的 回答割合	また、小中一貫教育を明治池中学校区で実施しており、児童生徒全員による集会や小中合同の挨拶運動、小中学校間における教員の相互乗り入れ授業、合同会議などに取組んでいる。
小学校	94%
中学校	83%
	また、ICTを活用し、会議等でのペーパーレス化など、業務負担軽減に各校で取り組みが進んでいる。さらに校務支援システムにより、出席簿管理や通知表作成などの業務効率化を図っているものの、教員が子どもたちのための教材研究にかけける時間を増加させることが必要である。
	*SSW…スクールソーシャルワーカーの略、児童生徒が抱える様々な問題の解決を図る専門職
	*教育支援センター…様々な理由で学校に通いにくい児童生徒が通室できる学校外の施設
	*スペシャルサポートルーム…児童生徒が教室以外の居場所として利用できる校内の別室
点検・評価	【令和6年度全国学力・学習状況調査結果】
令和6年度 ■実績値	
小学校	平均正答率(%) 小学校 中学校 無解答率(%) 小学校 中学校
中学校	国語 63 66 67.7 算数 59 63 63.4 国語 58 57 58.1 数学 52 51 52.5 国語 4.4 4.3 4.2 算数 2.5 3.4 3.4 国語 3.2 4.2 3.9 数学 10.8 12.6 11.3
	本事業の成果指標として設定している全国学力・学習状況調査では、表に示すように、平均正答率については、小学校では、国語、算数ともに全国及び府を下回っており、中学校では、国語、数学ともに全国ではやや下回っているものの、府は上回っている結果となっている。特に小学校においては、国、府との差が縮まらない状況があり、授業の改善が必要である。無回答率については、小学校の国語を除き、小中ともに全国及び府を下回っており、子どもたちが問題に粘り強く取り組んでいる結果となっている。
	同一集団の経年変化をみとるために、中学生チャレンジテストの1年生から3年生の点

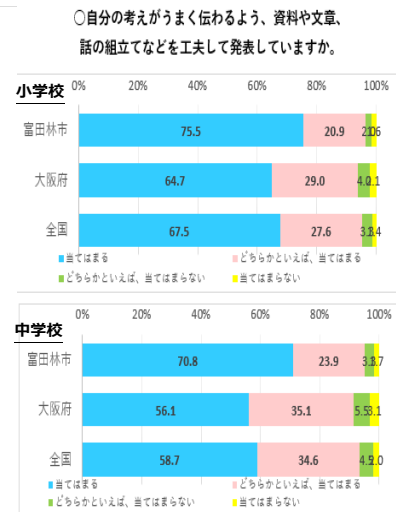
数分布を比較すると、国語においては、中間層の集団と大阪府平均点に同様の推移がみられることから、全体的に一定の学力が定着していると考えられる。しかし、3年生時に低得点側にばらつきが大きくなっていることから、中間層の中で学力の定着が不十分な生徒が増加傾向になっていることが懸念される。数学においては、中間層の集団と大阪府平均点に同様の推移がみられ、かつ、中間層のばらつきがほぼ変化がみられないことから、3年間を通して、全体的に一定の学力が定着していると考えられる。

【大阪府チャレンジテストの同一集団における点数の分布比較】



また、児童生徒質問紙アンケート項目では、「これまで受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」という質問に対して、「当てはまる」という強い肯定的回答が小中学校とも全国を上回っている。

子どもたちが課題に対して自ら創意工夫して解決に向かう姿勢の定着について一定の成果がみられる。現在、重点的に進めている個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に関して、さらなる研究を進め「子どもが常に考える授業展開の実施」が求められる。



課題

本事業における成果指標である、「学校に来るのが楽しい」の目標達成においては、学校での学びが充実していることが重要な要素である。

全国学力・学習状況調査においては、目標数達成に向けて研究し、取組みを進めているものの、「複数の資料やデータの中から目的に応じて必要な情報だけを選択し、根拠をもとに、自分の考えをまとめたり活用したりすること」においては課題がみられる。

今後は、知識・技能習得するための学習ではなく、学習で得た力を、他教科に活用することができるよう教科横断的な授業展開の実施等により、児童生徒が主体的に学び、より考えを深めるための効果的な協働学習について、研究を進めていく必要がある。

今後の
方向性

明治池中学校における小中一貫教育の取組みである小中学校間における相互乗り入れ授業、合同学力向上会議などの取組みを今後も推進し、その効果について、市域へ発信するとともに、他の中学校区においても、小中連携の充実に取り組んでいく。また、引き続き、中学校においては、市の単費による加配教員を活用し、少人数学級編制及び少人数学習指導を実施する。小学校高学年においては、教科担任制の推進や児童生徒支援に関する支援人材配置に取り組むとともに、学校支援・教職員の負担軽減に資する施策についても、どのような取組みが効果的であるかを検討し、推進することで、学力向上や子どもたちの確かな成長へと繋げていきたい。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	学校教育運営事業						
事業目的	学校協議会など各種委員会を開催したり、学校教育の運営に関する業務を実施したりすることで、円滑な学校運営を図る。						
事業概要	学校教育に資する各種委員会の活動補助、就学・転学や就学援助に係るシステム保守など学校運営に係る取組みを実施する。また、教職員のストレスチェック、産業医面談の設定等、労働安全衛生環境の保持増進を図り、教員支援を行っている。						
令和6年度の 主な実施内容	【いじめ問題対策委員会】実施回数1回 【いじめ認知件数】 単位：件						
令和11年度 ■成果指標 / 目標値 「いじめ認知件数」	590件						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		認知件数	147	262	387	393	496
いじめ認知件数については、国、府同様に積極的な認知を進めており、年々増加している。子どもの様子の変化や声に教職員が迅速に対応し、いじめ見逃しゼロを目標に取り組んでいる。いじめが発生した場合には、学校体制のもとで解消に至るまで丁寧に対応している。							
いじめ問題対策委員会は、教育委員会事務局をはじめ、小中学校の代表校長、チーフスクールカウンセラー、チーフスクールソーシャルワーカー、小中各PTA代表、教育に関する有識者によって構成され、本市のいじめの状況と具体的な取組みについて報告し、専門的見地や保護者観点から意見や助言を得ながら学校での対応に活かしている。							
【学校協議会開催状況】							
各校において年間3回(学期に1回)程度開催し、各協議会委員に対して学校運営に係る状況を報告するとともに、地域から見た学校教育の在り方について意見をいただいた。							
点検・評価	いじめ問題対策委員会においては、専門性を有する学識経験者や市民からの示唆や意見を頂き、本市における取組みや施策に係る審査等を行った。今後も、いじめのない学校づくりに取り組むとともに、いじめが発生した場合には、早期に積極的な認知を行い、解消に向けての丁寧な対応が進むよう、いじめ問題対策委員会において、学校教育の点検・評価的役割を果たせるよう取組みを進めていきたい。また、地域住民や保護者から学校運営に意見をいただくための学校協議会については、地域へ学校教育活動を説明する場であると同時に、助言をいただく場でもあり、重要な役割を果たしている。本事業については、学校運営に係る教育委員会事務局の実施する事業であることから、今後も適切な事務実施が求められる。						
令和6年度 ■実績値 「いじめ認知数」	496件						
課題	各種委員会や学校協議会については、各施策や学校の教育活動を確認・検証するために不可欠であり、今後も継続していくことが必要である。 市奨学金の給付については、国や府による授業料無償化等の支援策充実が図られているなか、基金残高がなくなったこともあり、休止に至っている。 *学校協議会…地域の方や保護者と連携し、よりよい学校づくりについて協議する会議体						
今後の 方向性	現在、多くの学校では、既存の学校協議会制度により地域からいただいた意見を学校運営の改善に活かしているところである。今後は、令和6年度に学校運営協議会を設置した学校における成果を見取りながら、今後の方向性について検討していきたい。 *学校運営協議会…地域の方や保護者が学校運営に参画し、協働的によりよい学校教育の実現に取り組む合議制の機関						

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

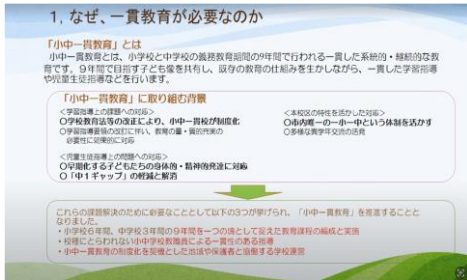
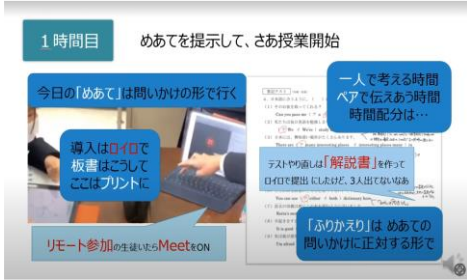
事務事業	教育コミュニティ推進事業・地域による学校教育支援事業
事業目的	学校・地域・家庭の総合的な教育力の再構築を図る地域教育協議会を運営する。 各中学校区において、地域の方を中心に学校支援ボランティアを組織し、学校教育に関わる支援活動を行うとともに、学校と地域とが協働する体制を整え、地域とともにある学校づくりを推進する。
事業概要	学校・地域・家庭の総合的な教育力の再構築を図る地域教育協議会の運営や、地域の方を中心に組織された学校支援ボランティアによる学校支援活動を実施する。
令和6年度の主な実施内容	【各中学校の特色に応じた取組み】 各中学校において、地域教育協議会(すこやかネット)主催の取組みが多数実施されており、フェスタの開催や地域清掃の実施、和太鼓演奏体験を通じた交流等、学校・地域・家庭のつながりを深めるとともに、地域をより活性化させる取組みが実施された。また、令和6年度より、明治池中学校区で学校運営協議会が設置され、放課後に地域の方が子どもたちに勉強を教える「寺子屋プロジェクト」等を実施するなど、地域学校協働活動を推進している。引き続き、地域と学校のより一層の連携充実に努めていきたい。 【第一中学校区】  【明治池中学校区】 
点検・評価	各中学校区において多様な地域教育協議会の取組みが進められている。また、学校支援活動においても、登校見守りや学習活動支援等の様々な活動が行われており、地域と学校との協働が推進されている。
課題	学校支援活動においては、学校と地域との共通理解を図ることが重要なポイントであり、前向きに協働を図ることができる形にしていきたい。また、各中学校区での効果的な取組みを共有することで学校支援活動の充実に繋げていくことが求められる。
今後の方向性	各中学校区すこやかネットの取組みにかかる諸費用については、財政的な支援や財源の確保が不可欠であり、引き続き、生涯学習課と横断的な連携体制を強化し、財政的支援を行いたい。また、令和6年度より設置された学校運営協議会について、その成果を見取っていききたい。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	教育研究事業
事業目的	富田林市教育委員会主催の研修会や各学校園の研修等を充実させることで、教職員の資質向上を図り、教育力の向上に努める。
事業概要	教員研修の実施及び、研究委嘱校を中心に各校園の状況に応じた教育力向上のための研究への補助を行う等、市内学校園の教育研究に関する事業を実施する。
令和6年度の主な実施内容	【夏季教職員研修一覧】 令和6年度においては、本市の「こどもまんなか」施策の柱である子どもの権利条例制定に向けた取組の一つとして、こどもの権利に関する研修を全教職員対象に実施した。他にも、市内夏季教職員研修として個々の指導力向上の研修のみならず、市域の教育課題についての内容など、様々なジャンルで実施しており、多くの幼小中教職員が参加した。さらには、各学校に対して研究委嘱を行っており、それぞれのテーマに応じた研究が進められている。 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 全国学力・学習状況調査平均正答率対全国比(中学校) 101% ●『小中一貫校の取組みについて』～小中一貫教育の推進に向けて～ 彩和学園 実践報告   ●『デジタルとアナログのいいとこどり』～『スマートスクール』から『確かな学び』へ～ 金剛中学校 実践報告  

点検・評価 令和6年度 ■実績値 99%	本市の夏季教職員研修については、市内教職員がそれぞれのテーマから選択した研修に参加する形で実施している。参加割合は、教職員数に対して、すべての研修会で延べ何人の参加があったかで示しており、経年の参加率から245%を目標としている。令和6年度については、約236%と若干下回る結果となったことから、働き方改革の視点からも、オンデマンド形式等の研修も含め、検討していく必要がある。また、各研究委嘱校園からは、全体研修会としてWEB配信により実践報告を行っており、市域への研究成果の普及に努めている。 各研修において、受講者からの評価をとり、各研修での満足度等について集計と分析を行っており、実施した研修について肯定的な評価となっている。その中でも「ICTに関する研修」、「支援教育に関する研修」、「人権教育に関する研修」については高い評価を得ている。
課題	教育現場に求められる取組みが多様化する中で、教職員研修メニュー、研修対象者にも工夫が必要である。引き続き、受講者の評価や感想を参考に、教職員からの意見を聴き、現場教職員のニーズに合致した研修の設定と、市の教育課題解決に向けた研修を実施することが必要である。 また、庁舎建替えの影響により研修会場の確保が困難であることから、今後はオンデマンド等のオンラインを活用した研修を充実させることで、全ての教職員が参加でき、市域に研修内容の普及ができる実施形態が必要である。
今後の方向性	各研究委嘱校園の研究成果については、教職員がWEBで閲覧できる環境を整えており、今後も研究実践を蓄積していきたい。また、各種研究団体や、各校園における研修に係る補助及び支援を継続していくことで、成果の出た取組みを市域で普及させるなど、本市全体の教育力向上に努めていきたい。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	小学校教育用パソコン管理事業・中学校教育用パソコン管理事業										
事業目的	高度情報化社会を担う子どもたちに求められる情報活用能力の育成を図る。										
事業概要	GIGAスクール構想のもと、令和2年度より整備された小中学校のICT環境を効果的に活用し、情報教育の充実に努めるとともに、その管理及び環境整備にあたる。 学習指導要領に基づき、教科横断的な視点で ICT機器を活用することで、情報活用能力を育成するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進める。										
令和6年度の主な実施内容	GIGAスクール構想の中で求められるICT機器等を活用した学習活動等の充実について取組みを推進するため、各校の実践事例を教職員向けポータルサイトで発信・共有するなど、市域全体で取組むことができている。また、不登校児童生徒や、やむを得ず登校できない児童生徒に対しても、学習用端末を有効に活用し、日常的に教室での授業を見れるようにしたり、ドリルアプリでの学習を実施したりするなど、学習保障や教職員との交流による心のケアに取り組んでいる。	【令和6年度全国学力・学習状況調査】 児童生徒質問紙・学校質問紙より ()数値は大阪府 ①「学習の中で ICT 機器を使うことで友達と協力しながら学習を進めることができる。」で肯定的回答の割合 <table><tr><td>小学校</td><td>91.2%(85.1%)</td></tr><tr><td>中学校</td><td>91.2%(84.5%)</td></tr></table> ②「学校で ICT 機器を活用している。」で「週3回以上使用している」回答の割合 <table><tr><td>小学校</td><td>69.9%(60.2%)</td></tr><tr><td>中学校</td><td>86.2%(56.9%)</td></tr></table>	小学校	91.2%(85.1%)	中学校	91.2%(84.5%)	小学校	69.9%(60.2%)	中学校	86.2%(56.9%)	
小学校	91.2%(85.1%)										
中学校	91.2%(84.5%)										
小学校	69.9%(60.2%)										
中学校	86.2%(56.9%)										
点検・評価	 <table><tr><td>令和6年度 ■実績値 小学校</td><td>70%</td></tr><tr><td>中学校</td><td>86%</td></tr></table>	令和6年度 ■実績値 小学校	70%	中学校	86%	各校でのICT活用した実践を動画及び指導案を市域で共有することで、学習活動におけるICT活用が推進されている。また、各校において日常的にICT機器を活用した授業が行われており、府・国と比較しても、その活用回数は充実したものとなっている。					
令和6年度 ■実績値 小学校	70%										
中学校	86%										
課題	本市が目標としている学習用端末の活用割合(6時間中2時間)は、多くの学校でおおむね達成しているものの、今後は、授業でのより効果的な ICT活用方法についての研究を進め、学力向上に活かすことが求められる。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、また、個別最適な学びの充実に向けた実践研究が必要であると考えている。										
今後の方向性	授業支援ソフトの活用により個々の意見を即座に共有したり、自らの考えを端末上で整理したりする ICT活用を進める。また児童生徒間での直接的な対話により、説明したり、表現したりする力の育成に向けて、今後、より一層研修の充実を図っていききたい。また、今年度実施する端末の更新を適切に進めるとともに、ICTの効果的な活用の研究を推進していきたい。										

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	幼稚園教育推進事業
事業目的	幼小の滑らかな接続に向けて、小学校との連携を強化し、架け橋期の教育活動の充実を図る。 幼児の健やかな成長を育むとともに、保護者のニーズに応えることで育児負担の軽減を図る。
事業概要	幼児教育と小学校教育の共通理解を深めるため、架け橋プログラムに関する研修を実施する。 園児指導及び保護者支援を各幼稚園で実施するため、配置基準に基づく教員(講師)を配置するとともに支援人材(幼稚園サポーター)を派遣する。
令和6年度の主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 年度当初の担任 人材充足率 100%	【架け橋プログラムに関する研修の実施】 令和6年度においては、小学校の教員と市内の就学前施設(公私立を問わず、幼稚園・保育所・こども園)の職員が集まり架け橋プログラムの研修を実施した。 参加者数81名 (小学校23名、就学前施設職員58名)  【人的環境の整備】 保護者からのニーズが高い「3年保育」「預かり保育延長」「給食の提供」を実施するため、10園に対して20名の教員(講師及び養護教諭)配置予算を確保するとともに、教員の多様な働き方に対応するため、幼稚園講師(短時間)の制度を継続して人材確保に努めた。また、幼稚園サポーターを派遣することで、幼児一人ひとりに応じた丁寧な対応を行うことができた。
点検・評価 令和6年度 ■実績値 100%	架け橋プログラムの研修により、小学校との縦のつながり、就学前施設の横のつながりをつくるきっかけとなった。また、幼児期の「学びの芽生え」を児童期の「学びの基礎」へ滑らかにつなぐために大切にしたいことを教職員が学び、実践に生かしている。 幼児一人ひとりの発達状況に応じたきめ細かい指導と、3年保育、給食、預かり保育等の取組みにより、保護者や地域の方々から幼稚園における教育活動について高い評

	価をいただいている。 また、成果指標に挙げている、「年度当初の担任人材充足率」において、100%を達成しており、年度途中についても維持している。
課題	「架け橋プログラム」の研修には各小学校より1名出席していたが、今後も継続して学校全体への理解を進め、浸透させていく必要がある。また、各就学前施設においても、関心度を高め、その必要性について理解の充実が必要である。 幼児教育の充実を図るために、教諭や養護教諭の新規採用の実施、講師や幼稚園サポーターの人材確保、年度途中に生じる欠員対応や応援体制構築等を行い、働き方改革を進める必要がある。また、市立幼稚園に関する市の方針が定まるまでの間においても、本事業予算の確保に努めることで安全で安心な市立幼稚園運営が求められている。 
今後の方向性	幼小の滑らかな接続に向けて研修を重ねるとともに、小学校との連携をさらに強化し、各幼稚園の教育実践の質が向上する手立てを考えていきたい。 今後は、「幼保あり方基本方針」に沿った園運営ができるよう幼稚園、幼児教育センターとの情報連携に努めるとともに、現在実施している3年保育、給食、預かり保育等の取り組みについては、引き続き実施し、幼児教育の充実を図りたい。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

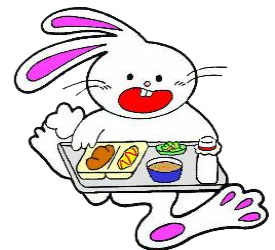
所管課：学校給食課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	学校給食管理運営事業・幼稚園給食事業・学校給食施設整備事業			
事業目的	・学校教育の一環として、正しい食習慣を身につけてもらうこと。 ・友達や先生と一緒に食べることで、自分の体を大事にし他者を思いやる心を育て、食に対する関心を持てるように促すこと。 ・今後の人生の基礎となる心身の発達に寄与すること。			
事業概要	・市立小学校・幼稚園の児童・園児を対象に、学校給食センターで調理した安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供し、食育を推進する。 ・調理業務は富田林学校給食(株)に委託し、また、アレルギー対応食を提供する。 ・試食会等を通して、学校給食への理解を深めてもらう。 ・公会計による学校園給食費の賦課・徴収管理。 ・給食を円滑に実施するため、施設や備品を整理する。			
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 安全安心な地元 産野菜・米の使用 量 10,000 kg	【理事会、各委員会の開催状況】			
	名 称		開催回数	
	小学校給食会 理事会		1回	
	衛生管理委員会		1回	
	物資納入業者選定委員会		1回	
	物資購入委員会		12回	
	献立作成委員会		7回	
	給食主任会		3回	
	アレルギー対応食検討委員会		3回	
	【小学校給食の実施状況】			
小学校数:16校 対象児童数:4,782人 実施日数:187日				
【幼稚園給食の実施状況】				
幼稚園数:10園 対象園児数:266人 実施日数:137日				
【参考：年度別年間給食数】				
	令和5年度		令和6年度	
学校園数	小学校	幼稚園	小学校	幼稚園
	16	10	16	10
年間給食数	968,565	46,512	961,749	41,747
一日平均給食数	5,179	337	5,143	305

令和6年度の 主な実施内容	・市立小学校16校の在籍児童の保護者に対し、国の交付金を活用し、小学校給食費（1学期分）の無償化を実施した。 ・小学校給食、幼稚園給食において、保護者の負担を求めずに、物価高騰による給食材料費の上昇分として、1食あたり30円の支援を行った。 ・地元産の食材については26,450 kg使用し、富田林産のお米は3回で1,350 kg使用した。また、1学期は南河内産のお米を18,540 kg使用した。 ・給食費の徴収管理については、督促状や催告書の発送とあわせて、コールセンターを活用して納付を促すとともに、債権管理課に所属する弁護士の助言を受け法的手続き、支払督促等に取り組んだ。 ・市立小学校16校で地域総合拠点「みなよる」等を活用し、地域の方々と小学生がともに給食時間に交流する「ふれあい給食」を開催した。 ・小学校給食配膳室に、学校給食衛生管理基準に準じた、温湿度管理に適した空調設備を整備するため、設置工事実施設計を行った。
点検・評価 令和6年度 ■実績値 26,450 kg	・給食材料費上昇分の公費負担により、給食内容を維持することができている。 ・食物アレルギーを有する児童・園児も同じように給食を楽しむことができるよう、卵を除去したアレルギー対応食を安全に提供できている。 ・富田林産の野菜は、毎月使用し、給食を通じた食育や地産地消に繋がっている。 ・給食費の徴収率は94.72%で、前年度93.08%よりわずかに増加した。
課題	・物価高騰による給食材料費の上昇により、実際の給食費が1食あたりの給食単価を超えており、令和6年度のおおくりみや今後の状況をふまえて、安定した給食が実施できるよう給食費の値上げ等について調査研究していく必要がある。 ・小学校給食を通じた交流「ふれあい給食」の取り組みは、学校が中心となって活動できるよう教育委員会として準備していく必要がある。
今後の 方向性	・給食材料価格の高騰による影響もあるなか、限られた給食費で献立内容を工夫しながら、栄養バランスのとれた給食を提供していく。 ・米不足の影響により、令和6年度以降の地元産お米を確保できる見通しが立たないが、食育の観点から、引き続き富田林産の野菜等、地元産食材の活用を図っていく。 ・法的手続きを利用した債権回収を行うなど、引き続き適正な徴収管理に取り組む。 ・学校給食を通じた交流機会を、学校と連携協力しながら充実を図る。また学校給食への理解を深めてもらえる機会の促進にも取り組んでいく。 ・安全安心な小学校・幼稚園給食を継続するため、給食配膳室や給食センターの施設や設備の改修等について、優先度の高いものから計画的に対応していく。 ・令和7年度には、給食配膳室の空調設備設置工事を行うほか、大阪・関西万博に関連した献立づくりの取り組みや、若者会議からの提案をうけて、「地場産給食の魅力を伝えるPR動画作成」を行う。



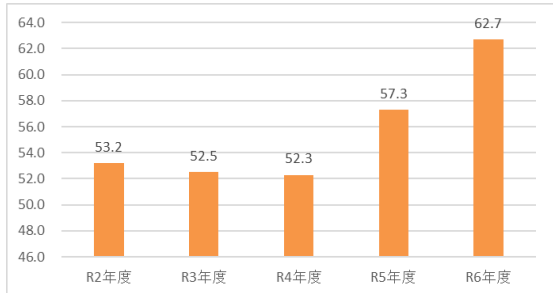
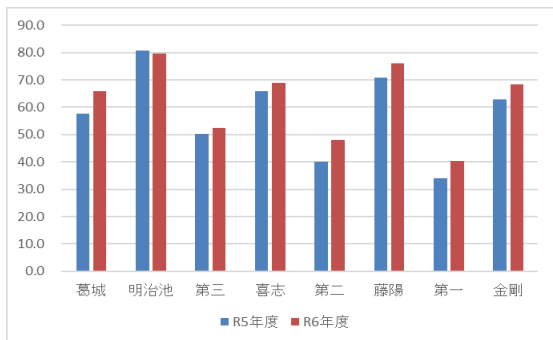
(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：学校給食課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	中学校給食事業												
事業目的	未来の担い手を育む教育の一環としての中学校給食運営												
事業概要	学校給食法等に基づき、安全・安心な自校式給食を希望選択により提供するとともに、その内容を食育に活かす。 ①給食関連設備の管理 ②給食食数管理 ③給食物資の調達 ④調理業務委託 ⑤食育の推進												
令和6年度の主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 安全安心な地元産野菜・米の使用量 1,000 kg	・生徒人数:2,346 人 全体実施日数:178 日 全体調理食数:249,845 食 ・生徒考案献立の提供:8回 ・令和6年6月から令和6年10月までの給食で、生徒一人当たり20食までの給食無償化を国の交付金を活用し実施した。 ・保護者の負担を求めずに、物価高騰による給食材料費の上昇分として、1食あたり20円の支援を行った。 ・地元産の食材については、8,751.2 kg使用し、富田林産のお米は3回で 580 kg使用した。また、1学期には南河内産のお米を 7,690 kg使用した。 ・中学校給食の「全員給食」の実施をめざし、給食提供方式の検討を進めるなかで、8月に「富田林市中学校給食に関わる検討骨子案」を定め、10月に小中学校PTAの方を対象にデリバリー方式HOTランチボックスの試食会を開催し、12月から1月に「富田林市中学校給食のあり方基本方針(素案)」に対するパブリックコメントを実施し、3月に「富田林市中学校給食のあり方基本方針」を策定した。 【理事会、各部会の開催状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>開催回数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校給食会 理事会</td><td>1回</td></tr> <tr> <td>物資納入業者選定部会</td><td>1回</td></tr> <tr> <td>物資購入部会</td><td>11回</td></tr> <tr> <td>献立作成部会</td><td>11回</td></tr> <tr> <td>給食主任会</td><td>2回</td></tr> </tbody> </table>	名 称	開催回数	中学校給食会 理事会	1回	物資納入業者選定部会	1回	物資購入部会	11回	献立作成部会	11回	給食主任会	2回
名 称	開催回数												
中学校給食会 理事会	1回												
物資納入業者選定部会	1回												
物資購入部会	11回												
献立作成部会	11回												
給食主任会	2回												
点検・評価 令和6年度 ■実績値 8,751.2 kg	・平成30年度に初めて年間喫食率が50%を突破して以降継続しており、令和6年度については、20食無償化の影響もあり、令和5年度から5.4%上昇し、62.7%となった。 ・給食材料費上昇分の公費負担により、給食内容を維持することができている。 ・富田林産の野菜の使用に努め、給食を通じた食育や地産地消に繋がっている。 ・安全安心な給食提供のため、調理員の衛生管理意識の向上を目的として、調理業務												

	従事者向けに衛生管理研修会を実施した。																											
点検・評価	・家庭科の授業と連動して食育の授業を行い、生徒自らが考えた献立を給食で提供する「生徒考案献立」を実施した。該当日の喫食率は概ね高くなる傾向にあり、食育にも繋がっている。また、大阪・関西万博の機運醸成のため万博献立を11回実施した。 【喫食率の推移（中学校全体） 資料編 P58：「中学校給食 喫食率の推移」参照】  <table><caption>喫食率の推移（中学校全体）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>喫食率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2年度</td><td>53.2</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>52.5</td></tr><tr><td>R4年度</td><td>52.3</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>57.3</td></tr><tr><td>R6年度</td><td>62.7</td></tr></tbody></table>	年度	喫食率 (%)	R2年度	53.2	R3年度	52.5	R4年度	52.3	R5年度	57.3	R6年度	62.7															
年度	喫食率 (%)																											
R2年度	53.2																											
R3年度	52.5																											
R4年度	52.3																											
R5年度	57.3																											
R6年度	62.7																											
課題	・物価高騰による給食材料費の上昇により、実際の給食費が1食あたりの給食単価を超えており、令和6年度取組みや今後の状況を踏まえて、安定した給食実施のため、給食費の値上げについて調査研究が必要となる。 ・全8校での給食開始から13年以上が経過し、調理施設が更新時期を迎えており、今後も安定して給食を実施するため、機器の入替や修繕等、必要な対応は引き続き行うとともに、全員給食（デリバリー方式HOTランチボックス方式）の開始に向けて、施設整備やシステム整備及び周知など、準備を進めていく必要がある。																											
今後の方向性	・季節や旬に合わせた献立づくりや生徒献立、万博献立、ご当地メニューを取り入れながら、生徒や保護者により多く給食を選択してもらえるように努めていく。 ・給食材料価格が高騰しており、限られた給食費で献立内容を工夫しながら、栄養バランスのとれた給食を提供していく。 ・米不足の影響により、令和6年度以降の地元産お米を確保できる見通しが立たないが、食育の観点も大いに考慮し、富田林産の野菜等、地元産食材の活用を図っていく。 ・大阪・関西万博に関連した献立づくりを継続する。 ・令和7年度には、「富田林市中学校給食のあり方基本方針」をもとに、令和8年度2学期(9月予定)からデリバリー方式による全員給食の開始とあわせて、公会計化の実現に向けて、給食調理等委託事業者の選定や、設備などの整備に要する予算の確保に取り組む。 【喫食率の推移（各中学校） 資料編 P58「中学校給食 喫食率の推移」参照】  <table><caption>喫食率の推移（各中学校）</caption><thead><tr><th>中学校</th><th>R5年度 (%)</th><th>R6年度 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>葛城</td><td>58.0</td><td>65.0</td></tr><tr><td>明治池</td><td>80.0</td><td>80.0</td></tr><tr><td>第三</td><td>50.0</td><td>52.0</td></tr><tr><td>喜志</td><td>65.0</td><td>68.0</td></tr><tr><td>第二</td><td>40.0</td><td>48.0</td></tr><tr><td>藤陽</td><td>70.0</td><td>75.0</td></tr><tr><td>第一</td><td>35.0</td><td>40.0</td></tr><tr><td>金剛</td><td>62.0</td><td>68.0</td></tr></tbody></table>	中学校	R5年度 (%)	R6年度 (%)	葛城	58.0	65.0	明治池	80.0	80.0	第三	50.0	52.0	喜志	65.0	68.0	第二	40.0	48.0	藤陽	70.0	75.0	第一	35.0	40.0	金剛	62.0	68.0
中学校	R5年度 (%)	R6年度 (%)																										
葛城	58.0	65.0																										
明治池	80.0	80.0																										
第三	50.0	52.0																										
喜志	65.0	68.0																										
第二	40.0	48.0																										
藤陽	70.0	75.0																										
第一	35.0	40.0																										
金剛	62.0	68.0																										

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 4	未来の担い手の育成

事務事業	若者施策推進事業
事業目的	次代を担う若者が地域活動の担い手として成長し、まちづくりに積極的に参画することを目的とする。
事業概要	概ね16歳から30歳の若者による「若者会議」を年間9回開催し、本市に必要な施策や取組について議論を行い、市に対して施策提案を行った。
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 延べ施策提案数 36件	・若者会議からの提案施策数:4件 「(仮称)こども・子育てプラザ」に必要な機能、地場産野菜を使った給食のPR方法、 「富田林市こどもの権利条例」の周知方法、地元愛・郷土愛を育むためのイベント ・委員数:20名 【若者会議開催の様子】  ※令和6年度については、若者会議委員が市の担う業務を知る機会とするとともに、提案施策のテーマ偏重を解消するため取り入れた「重点テーマ」を3件採用した。
点検・評価 令和6年度 ■実績値 16件	市提案型の「重点テーマ」の3件(「(仮称)こども・子育てプラザ」に必要な機能、地場産野菜を使った給食のPR方法、「富田林市こどもの権利条例」の周知方法)については、市の課題に基づく検討であり、必要性の高い施策提案となった。フリーテーマの1件(地元愛・郷土愛を育むためのイベント)については、市内の各高校の合同イベントであるが、若者世代に強い印象を与え、地元愛につながるような内容となるよう、提案を行った委員とも調整のうえ、効果的な事業実施につなげていく必要がある。
課題	委員募集を行っても応募者数が少ないこと。また、委員から発案の施策テーマに偏りが見られること等が挙げられる。
今後の方向性	委員応募者数を増やすため、令和6年度は制度周知ポスターを駅などに掲出するなどこれまで以上に若者会議の魅力発信に努めた。また、高校生や大学生の若者が委員に応募しやすいよう、令和7年度の委員募集から募集スケジュールを変更するが、それ以外にも社会人の若者にももっと応募してもらえるような方法を検討する。そして委員から発案の施策テーマについては、テーマ決めまでの検討時間を従来より長くすることで、より本市の課題等に向き合ったテーマとなるよう、会議スケジュールについても見直しを行う。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	文化振興一般事務																																																				
事業目的	本市の文化芸術を振興するための各種事業を実施する。																																																				
事業概要	富田林まちかどミュージアム事業など富田林市文化芸術振興ビジョンに基づく各種事業を実施するほか、富田林市文化団体協議会との連携による市民文化祭の開催や、市内で活動する文化団体が行う事業に対し助成金を交付する。																																																				
令和6年度の 主な実施内容	【富田林まちかどミュージアム事業】 多くの市民が身近な場所で芸術に親しむことを目的に、本市公共施設など市内19施設に市民や市内高等学校の学生、富田林出身のプロのアーティストが制作した絵画・写真等74作品を展示。																																																				
令和11年度 ■成果指標 / 目標値 市民文化祭 参加者数	すばるホール けあばる 【第74回 富田林市民文化祭の開催】 富田林市文化団体協議会に加盟する各団体と連携し、5月から11月にかけて、すばるホールなどにおいて市民文化祭を開催。12大会で延べ5,811人が参加した。 (単位：人) <table><tr><th>大会名</th><th>日程</th><th>会場</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>ミュージックフェスティバル</td><td>5月25日</td><td>すばるホール ホール</td><td>389</td></tr><tr><td>市民民謡大会</td><td>6月22日</td><td>すばるホール 小ホール</td><td>149</td></tr><tr><td>ダンスフェスティバル</td><td>7月7日</td><td>すばるホール ホール</td><td>819</td></tr><tr><td>コーラスフェスティバル</td><td>9月8日</td><td>すばるホール ホール</td><td>1,178</td></tr><tr><td>市民川柳大会</td><td>9月28日</td><td>すばるホール 小ホール</td><td>188</td></tr><tr><td>三絃・箏・尺八演奏会</td><td>10月6日</td><td>すばるホール ホール</td><td>300</td></tr><tr><td>謡曲大会</td><td>10月6日</td><td>すばるホール 小ホール</td><td>80</td></tr><tr><td>市民吟詠大会</td><td>10月14日</td><td>市民会館 中ホール</td><td>165</td></tr><tr><td>市民美術工芸展</td><td>10月11日 ～14日</td><td>すばるホール 展示室、小ホール</td><td>1,483</td></tr><tr><td>茶華道大会</td><td>10月26日 ～27日</td><td>すばるホール 展示室</td><td>499</td></tr><tr><td>市民舞踊会</td><td>11月3日</td><td>すばるホール ホール</td><td>459</td></tr><tr><td>郷土文化大会</td><td>11月30日</td><td>すばるホール 小ホール</td><td>102</td></tr></table>	大会名	日程	会場	参加者数	ミュージックフェスティバル	5月25日	すばるホール ホール	389	市民民謡大会	6月22日	すばるホール 小ホール	149	ダンスフェスティバル	7月7日	すばるホール ホール	819	コーラスフェスティバル	9月8日	すばるホール ホール	1,178	市民川柳大会	9月28日	すばるホール 小ホール	188	三絃・箏・尺八演奏会	10月6日	すばるホール ホール	300	謡曲大会	10月6日	すばるホール 小ホール	80	市民吟詠大会	10月14日	市民会館 中ホール	165	市民美術工芸展	10月11日 ～14日	すばるホール 展示室、小ホール	1,483	茶華道大会	10月26日 ～27日	すばるホール 展示室	499	市民舞踊会	11月3日	すばるホール ホール	459	郷土文化大会	11月30日	すばるホール 小ホール	102
大会名	日程	会場	参加者数																																																		
ミュージックフェスティバル	5月25日	すばるホール ホール	389																																																		
市民民謡大会	6月22日	すばるホール 小ホール	149																																																		
ダンスフェスティバル	7月7日	すばるホール ホール	819																																																		
コーラスフェスティバル	9月8日	すばるホール ホール	1,178																																																		
市民川柳大会	9月28日	すばるホール 小ホール	188																																																		
三絃・箏・尺八演奏会	10月6日	すばるホール ホール	300																																																		
謡曲大会	10月6日	すばるホール 小ホール	80																																																		
市民吟詠大会	10月14日	市民会館 中ホール	165																																																		
市民美術工芸展	10月11日 ～14日	すばるホール 展示室、小ホール	1,483																																																		
茶華道大会	10月26日 ～27日	すばるホール 展示室	499																																																		
市民舞踊会	11月3日	すばるホール ホール	459																																																		
郷土文化大会	11月30日	すばるホール 小ホール	102																																																		

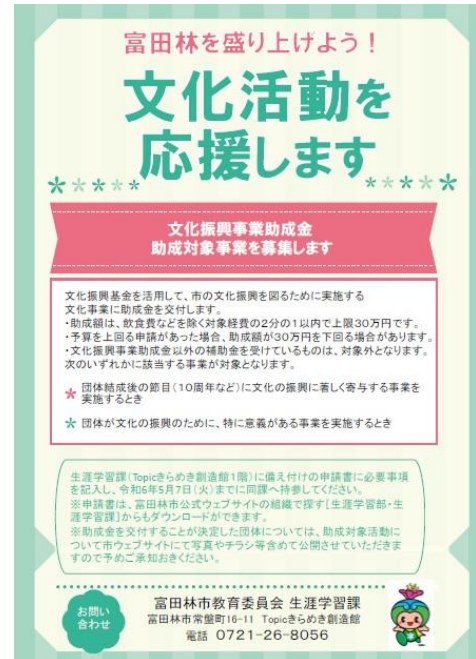
【富田林市文化振興事業助成金の交付】

市内で活動する文化団体が結成の節目(10周年等)に、文化の振興に著しく寄与する事業を行ったり、文化振興のために特に意義がある事業を行うとき等に助成金を交付。

(補助率1/2、上限30万円)

○文化振興事業助成金 交付団体

- ・錦織地区及び駅前周辺まちづくり協議会
- ・とんだばやし混声合唱団
- ・すばる交響楽団
- ・i. tone(アイトーン)
- ・劇団てるてるぼうず
- ・Ballet Studio Scintiller



(単位：件、円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付件数	0	3	5	4	6
交付金額	0	349,348	599,999	453,989	1,683,665

点検・評価

令和6年度
■実績値

5,811人

まちかどミュージアム事業については公共施設のみならず商業施設や店舗等にも協力をいただくなど、年々、展示箇所数・作品数を増やしている。市民文化祭についてはコロナ禍を経て参加者数も徐々に回復傾向にある。文化振興事業助成金は交付団体数・交付額とも過去最高となった。

課題

まちかどミュージアム事業については展示作品数の増に対し展示箇所数の増が上回っており、作品の確保が課題となっている。また文化振興事業助成金は令和6年度に交付団体数・交付額とも過去最高となったが、この傾向が今後も続くのか注視が必要。

今後の
方向性

様々な商業施設や店舗等にご協力をいただく形で展示箇所数を増やしているまちかどミュージアム事業については、これまで作品を提供いただいた市美術協会や市内高校の美術部だけでなく、プロのアーティストにも作品の提供を依頼するなど、作品の確保に努めていく。市民文化祭については各文化団体の発表の場であり、市内で活動する文化団体の活動支援の取組みであると同時に、市民が身近なところで文化芸術に触れることができる貴重な事業であることから、今後も継続していく。文化振興事業助成金については富田林市文化振興基金を活用した事業であり、基金の残高も約1億円あることから、今後も申請傾向を見極めつつ、事業を継続していく。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	スポーツ指導普及事業				
事業目的	市民の誰もが参加できる健康・体力づくりの事業を行うほか、小中学生を対象としたスポーツ指導者養成事業を行い、スポーツの振興を図る。				
事業概要	スポーツ推進委員協議会による事業、ジュニアスポーツリーダースクールや各種指導者の派遣などの事業を行う。				
令和6年度の 主な実施内容	【ジュニアスポーツリーダースクール（JSL）】 小学校4年生～中学校3年生までの児童・生徒を対象に年12回（内1回は、宿泊を含む）の講座を実施した。				
令和11年度 ■成果指標 / 目標値 ジュニアスポーツ リーダー スクール参加者 数	【JSL参加者数(延べ人数)】 (単位：人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	120	99	157	102	240
300人	 【ジュニアスポーツリーダースクール活動写真】				
点検・評価	ジュニアスポーツリーダースクールについては子どもの自立を促すカリキュラムに基づいた、スポーツを通じて地域のリーダーとなる子どもを育成するための事業であるため、保護者からの期待も高く参加者も継続参加が多くみられるなど、人気の事業となっている。令和6年度はファミリースポーツ大会などをスクールの一環として加えることで、年間10回から12回に増やし、またスクールの参加を登録制に加え、スポット体験受講も可能としたことで、延べ参加者数を大幅に増加させることができた。				
令和6年度 ■実績値	240人				
課題	ジュニアスポーツリーダースクールについては、かつては募集定員を大きく超える申し込みがあり、抽選で参加者を決定していた時期もあったが、近年では参加者数が減少していることから、より子どもに魅力のあるプログラムとすることや、参加者の募集方法などについて検討する必要がある。				
今後の 方向性	参加者数の減が続いていたことを受けて、令和6年度から事業内容を一部見直し、また実施回数も増やしたことで、延べ参加者数を増加に転じさせることができた。今後も参加者のニーズに合わせた内容となるよう工夫し、さらなる参加者数の増をめざす。				

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	市民スポーツ活動推進事業					
事業目的	市民の体力向上を目的として、一人でも多く参加できる事業・大会を開催するとともに、社会体育団体及び指導者の育成を図る。					
事業概要	各種スポーツ団体等に委託するなどにより、市民体育大会、市民スポーツレクリエーション祭、市民マラソン大会、大阪府総合体育大会やドリームフェスティバルの開催などの事業を実施する。					
令和6年度の主な実施内容	【各大会参加者数推移】(単位：人)					
令和11年度 ■成果指標 / 目標値 市民体育大会参加者数 3,200人		R2	R3	R4	R5	R6
	市民体育大会	3,007	2,187	3,782	3,026	3,041
	市民スポーツレクリエーション祭	278	291	640	615	541
	市民マラソン大会	中止	中止	中止	265	259
	ドリームフェスティバル	中止	中止	1,503	3,843	1,552
	その他	2,789	2,175	6,024	5,198	4,963
計	6,074	4,653	11,949	12,947	10,356	
	【ドリームフェスティバルの様子】			【市民体育大会開会式の様子】		
						
点検・評価	各スポーツ団体の積極的な活動により、市民が身近にスポーツを楽しむ機会を多く提供できている。その他、市民が身近な場所でスポーツ観戦ができることを目的に開催している富田林ドリームフェスティバルについては、例年2試合開催のところ令和6年度はスケジュールの関係で1試合の開催にとどまったことから、参加者数が減少となった。					
令和6年度 ■実績値 3,041人						
課題	長年にわたる活動や大会の実施の結果、内容の変化に乏しくなっていることや、競技人口の減少や高齢化に伴い参加者数が伸び悩んでいる。					
今後の方向性	より多くの市民のスポーツ活動への参加を促すため、現状の課題に対する改善策や、新たな市民ニーズに対応した取組を検討するなど、市民の健康増進につなげることを目的に市民スポーツ活動を推進していく。					

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	文化財管理事業
事業目的	市内の文化財等について維持管理及び指導等を行うことにより、歴史的資源の保全を図る。
事業概要	市内の文化財等の維持管理業務(除草・剪定、看板修繕等)、指定文化財所有者等への指導、指定文化財に関する事務、文化財保護審議会の開催等。
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 出前講座を受講 した人数 150人	【文化財や文化財説明看板等の維持管理】 ・市が管理する文化財において、除草・樹木剪定を実施した。 ・経年劣化した河内ふるさとのみちの道標2基、案内板1基を復旧修理した。 【文化財保護審議会の開催】 富田林市の文化財の保存、継承及び活用や文化財の市指定を進める為に文化財保護審議会を1回開催した。 【文化財保存活用地域計画の策定】 令和7年度から令和16年度までの10年間を計画期間とする文化財保存活用地域計画を策定し、令和6年12月20日に文化庁の認定を受けた。 前期(令和7年度から令和9年度)の取組みのロードマップを検討し、次年度の予算と職員体制を整えた。
点検・評価 令和6年度 ■実績値 0人	・年次計画に基づき河内ふるさとのみちの道標の修繕を実施することができた。 ・文化財の周辺環境の維持管理や、文化財に付随する設備を修理できた。 ・文化財保護審議会を開催したことにより、専門的な視点から、各種事業の進捗状況と成果について、評価を受けることができた。 ・小学校における埋蔵文化財を活用した出前授業の実施に向けて検討案を作成できた。
課題	少子高齢化による担い手不足から、地域の文化財の維持が困難となり、次世代への継承が危ぶまれていることから、文化財保存活用地域計画に基づき、その保存と活用に取り組む必要がある。
今後の 方向性	・古墳等の遺跡の維持管理のため、除草・剪定、看板修理等の環境整備を継続する。 ・子どもたちが地域の歴史や文化への関心を深め、将来の担い手として文化財を大切にしようという気持ちを育むため、小学校で埋蔵文化財の出前授業を実施する。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	埋蔵文化財調査事業
事業目的	開発等により破壊される可能性のある埋蔵文化財を発掘調査し、記録保存する。又、国指定史跡である新堂廃寺跡等を整備する。
事業概要	文化財保護法に基づく発掘届出の受付事務(通知を含む)、富田林市開発指導要綱に基づく指導・協議・立会・事前・試掘・本調査業務、国指定史跡新堂廃寺跡等整備事業等。
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 報告会に参加し た人数 300人	【埋蔵文化財発掘調査業務】 ・文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の発掘事務等(届出の受付、開発指導要綱に基づく指導・協議)を行った。また、個人住宅等の建設に伴う発掘調査を国庫補助事業として実施するとともに、民間開発、公共事業に伴う調査を実施した。 (届出130件※公共事業に伴う通知12件、本発掘調査3件、試掘調査10件) ・埋蔵文化財調査報告書の刊行を行った。 ・埋蔵文化財発掘調査レポートを広報誌に掲載した。 ・大阪大谷大学において、博物館講座「喜志南遺跡と古市古墳群」(5月25日)と調査報告会「喜志南遺跡で見つかった(仮称)喜志南カイト古墳について」(6月15日)の講演を行った。
点検・評価 令和6年度 ■実績値 135人	・文化財保護法に基づき埋蔵文化財発掘調査に係る一連の業務を行い、遺跡の記録保存を進めることができた。 ・大阪大谷大学での調査報告会に、延べ135人の参加があり、発掘調査の成果を地域社会に還元し、地域の歴史や文化財に対する関心を醸成することができた。
課題	発掘調査で出土した遺物を保管する施設が不足しており、整理作業や適切な保管に支障をきたしている。
今後の方向性	発掘調査の成果を地域社会に還元し、地域の歴史や文化財に対する関心を醸成するため、調査報告会を開催します。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	寺内町保存事業
事業目的	富田林寺内町の歴史的町並みの保存を推進し、地元組織や関連団体と連携しながら、町全体の活性化を図る。
事業概要	富田林寺内町内の景観照明灯や施設等の維持管理を始め、町並み保存に係る業務、寺内町の活性化に向けた普及啓発事業、伝統的建造物群保存審議会の開催等。
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 修理修景に関する 相談件数 68件	【寺内町の町並み保存】 富田林寺内町内の施設について、除草等の維持管理や修繕を実施した。また、地区内に設置されている景観照明灯の維持管理を実施するとともに、令和4年度から三か年計画により進めている電球のLED化改修工事については全190基のうち、73基の改修を行い、すべての電球のLED化が完了した。地元関連団体の会議や企画事業に定期的に参加し、地域の課題や今後のまちづくりについて情報交換を行った。 【伝統的建造物群保存審議会の開催】 伝統的建造物群保存審議会を開催し、伝統的建造物群保存地区の保存等に関する重要事項について審議した。 【全国伝統的建造物群保存地区協議会への参加】 長野県長野市で開催された令和6年度全国伝統的建造物群保存地区協議会の総会及び研修会に参加した。 
点検・評価 令和6年度 ■実績値 37件	・富田林寺内町内の施設や景観照明灯等の維持管理を適切に行うことで、富田林寺内町の環境を整備し、町並みの保存を図ることができた。
課題	富田林寺内町では、建造物の老朽化や所有者の高齢化・後継者不足などにより建造物の維持管理が困難となっており、このままでは歴史的町並みが失われる可能性がある。富田林寺内町の継続的な発展のためにも地元関連団体等と連携して対策を講じる必要がある。
今後の 方向性	引き続き地元関連団体等と連携しながら、富田林寺内町の歴史的町並み保存の推進と、町全体の活性化を図る。また、市所有の旧東奥谷家住宅についても歳入と歳出のバランスのとれた持続可能な維持管理をめざす。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	歴史資料保存活用事業
事業目的	市民の文化財保護意識を高めるため、埋蔵文化財や古文書、民俗資料等の歴史資料の整理・保存及び活用を図り、文化財の普及啓発に努める。
事業概要	埋蔵文化財センターの管理、歴史資料の整理・保存、歴史資料を活用した展示・講演会等の普及啓発事業等。
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 おうちdeミュージアムの 総閲覧数 600,000回 企画展の展示 物を鑑賞した 人数 2,000人	【歴史資料の整理保存・活用】 ・大阪大谷博物館との共催事業として、「大とんだばやし展－埋文調査の歩みとこれから－」(4月8日から6月29日)を開催し、市が所蔵している出土遺物、図面、その他関連資料を展示した。 入館者982人 ・上記展示会場内の3Dパノラマビュー画像を撮影し、おうちdeミュージアムに公開した。 ・大阪府、河内長野市、大阪狭山市との共催事業として「歴史発見2024」(5月25日から7月28日)を大阪府立狭山池博物館と河内長野市立ふるさと歴史学習館で開催し、細井廃寺から出土した遺物を展示した。
点検・評価 令和6年度 ■実績値 279,886回 982人	・大とんだばやし展は、市内外からたくさんの方に鑑賞いただき、大いに盛況であった。また、来場者アンケートやSNSでの反響から、展示内容に対する高い関心が示された。 ・おうちdeミュージアム(デジタルアーカイブ)の活用について、大とんだばやし展の3Dパノラマビューコンテンツの充実により、オンラインでの閲覧数を増加させることができ、現地にお越しになれない方々への情報発信として、有効な手段であることが確認できた。
課題	歴史資料の保管環境(保存処理、温度、湿度など)を改善し、適正管理できる将来的な保管場所の確保に向けて取組む必要がある。
今後の方向性	・歴史資料の活用に供するためにも、年次的に資料の整理を進めるとともに、恒久的に保管するための施設の検討を進める。 ・腐食や劣化が進む歴史資料の保存に向けた方策の検討を進める。 ・おうちdeミュージアム(デジタルアーカイブ)の内容をさらに充実させる。 ・大阪大谷大学や寺内町4施設指定管理者と共催して文化財の企画展を開催する。 ・市内の公共施設で文化財の展示を行う。



(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	寺内町整備事業					
事業目的	富田林寺内町内における伝統的建造物の修理及び一般建造物の修景に対し補助を行うことによって、歴史的町並みを保全し景観形成を推進する。					
事業概要	富田林寺内町内の建築物等の修理・新築・改築等における現状変更行為に関する受付及び許可、並びに、内容相談及び技術指導。					
令和6年度の 主な実施内容	【伝統的建造物群保存地区の保存】 富田林寺内町内の建築物等について、修理・新築・改築などの歴史的風致の保存に影響を与える行為（現状変更行為）に関する受付、相談及び技術指導を行った。					
令和11年度 ■成果指標 / 目標値 修理修景に関する 相談件数	【伝統的建造物群保存地区の助成措置】 保存地区の町並みを保全するための助成措置として、所有者によって行われる伝統的建造物の修理や一般建造物の修景に必要な経費の一部を補助した。					
68件	(参考：寺内町地区の修理修景補助事業実績推移)					
	単位：件					
	補 助 事 業 名	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度
	富田林伝統的建造物群保存地区保存事業および街なみ環境整備事業	3	4	5	3	4
点検・評価	伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物や町並みの保存について、修理、修景事業を実現するため、所有者と調整を行い実施することができた。また修理修景補助事業の受付や事業のスケジュールを示した案内文書を作成し、補助制度についての周知を行った。					
令和6年度 ■実績値	37件					
課題	富田林寺内町では、建造物の老朽化や所有者の高齢化・後継者不足などにより建造物の維持管理が困難となっており、このままでは歴史的町並みが失われる可能性がある。修理・修景事業を実施し、事業費の一部を補助することは、歴史的町並み保全対策の一つとなる。					
今後の 方向性	富田林寺内町の文化財的価値向上を図り、後世へ良好な歴史的町並みを継承していくため、今後も継続して修理・修景事業の制度周知を行うとともに、所有者や業者などの相談に応じながら、修理・修景事業を実施していく。					



(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	文化財施設管理事業																								
事業目的	富田林寺内町内に位置する指定管理4施設(重要文化財旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち交流館・じないまち展望広場)と登録有形文化財旧田中家住宅を含む5施設の維持管理・運営と活用を図る。																								
事業概要	富田林寺内町4施設:指定管理者による一括管理運営 旧田中家住宅:文化財施設として無料公開、施設貸出受付やイベント開催等。																								
令和6年度の主な実施内容	【富田林寺内町4施設の指定管理業務】 ・指定管理各施設の維持管理、施設公開及び施設貸出業務等。・富田林寺内町の賑わい創出、歴史・文化等に関する魅力発信や普及啓発。・指定管理4施設を含む富田林寺内町に関する広報・宣伝活動(ホームページ、SNSの活用等)の実施。 【旧田中家住宅】 ・施設の維持管理、施設公開及び施設貸出業務等。 ・雑かざり展示等の利用者向上のためのイベント実施。 【参考:施設入館者推移】 単位:人 <table><thead><tr><th>施設名</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>重要文化財旧杉山家住宅</td><td>4,532</td><td>6,518</td><td>8,752</td><td>8,112</td><td>9,458</td></tr><tr><td>じないまち交流館</td><td>10,380</td><td>12,732</td><td>19,128</td><td>26,195</td><td>24,380</td></tr><tr><td>旧田中家住宅</td><td>3,497</td><td>4,668</td><td>6,644</td><td>8,138</td><td>7,478</td></tr></tbody></table>	施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	重要文化財旧杉山家住宅	4,532	6,518	8,752	8,112	9,458	じないまち交流館	10,380	12,732	19,128	26,195	24,380	旧田中家住宅	3,497	4,668	6,644	8,138	7,478
施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																				
重要文化財旧杉山家住宅	4,532	6,518	8,752	8,112	9,458																				
じないまち交流館	10,380	12,732	19,128	26,195	24,380																				
旧田中家住宅	3,497	4,668	6,644	8,138	7,478																				
令和11年度 ■成果指標 / 目標値 富田林寺内町4施設ウェブサイト閲覧数 30,000回																									
点検・評価	・富田林寺内町4施設一括での指定管理運営は令和5年度から第二期(令和5年度～令和9年度)がスタートした。各施設の入館者数は新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調にある。 ・旧田中家住宅は、維持管理を適正に行ったことで、施設利用者の安全性、快適性の確保はもとより、文化財施設の保存に繋がった。																								
令和6年度 ■実績値 24,080回																									
課題	富田林寺内町への来訪者数は回復しているが、指定管理者と連携・協力しながら、リピーターの確保や交流人口の増加に向けた取組みを検討していく必要がある。																								
今後の方向性	富田林寺内町4施設及び旧田中家住宅については、それぞれの特性に応じた使用・事業展開を検討していく。施設利用者の安全や快適性の確保が必須であるため、改修が必要な箇所については適切に行っていく。																								

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：公民館

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	中央・東・金剛公民館事業
事業目的	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する
事業概要	公民館主催講座の実施 公民館クラブ連絡会の育成 公民館施設管理業務
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 市民企画の講座 回数 139回	【公民館主催講座・市民企画の講座の実施並びに学習機会の提供】 3館の公民館主催講座として、大学や医療機関、公民館特技登録者など地域の人材を講師とし、67講座を実施した。 市民企画の講座・イベントとしては、6月9日 3館合同発表会を中央公民館ホールで開催した。 その他、憲法月間行事として一人芝居「ゆんたくしましょうね」、人権講演会として「異文化から学ぶ人権 『インド舞踊に魅せられて～私のインド滞在記』、人権週間映画会として「『ばけますからよろしくおねがいします』～おかえりお母さん～」を行った。 また、コンサートや作品展等クラブの自主講座についても、様々なジャンルで取り組み、クラブ体験月間では、中央公民館では39クラブ、東公民館では13クラブ、金剛公民館では16クラブの参加があった。加えて金剛公民館では夏休みに10クラブが「こどものクラブ体験教室」を実施した。 【3公民館クラブ合同発表会の様子】 
点検・評価 令和6年度 ■実績値 107回	令和6年度は、講座や行事等は例年通りのペースで実施することができ、コロナ感染症以前の状態を取り戻しつつある。 年1回のイベントである公民館まつりについては、3館合計 6,344 人の参加があり、納涼のタペ(東公民館)についても、300人を超える親子が東公民館を訪れるなど、各公民館クラブ連絡会と協力しながら実施することができた。

課題	公民館講座の年代別受講者数をみると、約77％が60歳代以上となっている。平日開催が多いことがその理由の一つかと思われるが、幅広い世代に参加していただけるよう、講座の開催条件設定に努めたい。 施設面では、施設・設備・備品の老朽化が進む中、安全のための計画的な点検・整備・更新とエレベーターの設置等施設のバリアフリー化が早急な課題である。
今後の方向性	利用者も、令和4年12月から導入した施設予約システムも浸透してきたようで、以前のように公民館まで出向かなくても自宅で施設予約が取れるようになり、利用者の利便性が向上した。 公民館としては、各公民館に整備した公衆無線LAN環境を活かして、YouTubeによる講座動画配信をはじめ、オンライン配信等の導入により、遠隔地に住む人や外出が難しい人でも参加可能な学びの機会を充実させるとともに、利用者、特に高齢者のデジタルデバйд対策にも努めていく。



(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：公民館

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	公民館運営審議会事務
事業目的	公民館が各種社会教育事業を実施するにあたり、その運営が有効適切に行われることを目的とする。
事業概要	公民館運営審議会は、館長の諮問機関として、館長からの諮問に対して答申を行うほか、公民館が行う各種事業、及び公民館運営全般について調査・審議を行う。
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 審議会開催率 100%	公民館運営審議会を開催 7月と3月の年2回開催。第1回では、前年度事業報告、第2回では次年度事業等の審議を行った。
点検・評価 令和6年度 ■実績値 100%	近年の運営審議会では、公民館で行う各種事業の報告及び計画だけでなく、公民館が抱えている課題、諸問題について活発な意見が出されるようになってきている。 昨年度では、ICTを活用した事業の推進などについて意見が出された。
課題	近年の運営審議会では、公民館で行う各種事業の報告及び計画だけでなく、公民館が抱えている課題、諸問題について活発な意見が出されるようになってきている。 昨年度では、ICTを活用した事業の推進などについて意見が出された。
今後の 方向性	運営審議会においては、現状の年2回(事業報告・事業計画)が定例化されている。 昨年度では「点検・評価」に記載した意見(ICTを活用した事業の推進)が出されたが、今後も引き続き、課題の整理や方向性について、審議していただく必要がある。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：図書館

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	中央図書館事業・金剛図書館事業
事業目的	図書館法に基づき、生涯学習の拠点施設として、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に役立つ図書館資料や情報を収集し、提供する。
事業概要	市民の生活や活動の支援、生涯学習支援、学校図書館支援、地域文化情報・歴史情報の収集・蓄積・発信、図書館協議会及び活動団体との連携・協働。また、「富田林市子ども読書活動推進計画」の推進、乳幼児、児童、高齢者、障がい者、外国人の利用者サービスの充実、近隣図書館間の広域相互利用の推進など市民の読書環境の整備に努める。
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 市民一人あたりの 貸出冊数 7.8冊	・国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、図書館システムの入替えを実施した。この度の入替えでは、資料にICタグを貼付し、図書館入り口に貸出手続き確認装置を設置するとともに、自動貸出機を導入することで、セルフで貸出が行えるようになり、プライバシー保護や利用者の利便性の向上を図った。 ・令和5年3月に策定した「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づき、令和5年4月より公立の保育園にも自動車文庫の乗り入れを行っており、令和6年度では、幼稚園のべ8園に 514 冊、保育園のべ18園に 1,415 冊の貸出を行った。保育園への自動車文庫乗り入れが徐々に定着し、より多くの子どもたちに本を届けることができた。従来より地域に運行している自動車文庫についても、12ステーションを2週間に一度の巡回を維持できた。 ・アウトリーチサービスの一環として、令和6年10月に金剛駅周辺のまちなかウォークアブル社会実験「OPEN STREET+」に参加させていただき、自然を利用した工作の本や絵本、健康関係の資料など、約 500 冊をブース展示し、図書館のPRを行った。会場では、親子連れや、日頃図書館を利用されていない大人の方も本を手に取り、読書を楽しんでいた。また、11月の公民館まつりでは、公民館と連携し、「本と人が出会う場所 図書館でほっと一息」をキャッチフレーズに掲げ、公民館まつりでの催しに関連する資料を展示するとともに、おはなし読み聞かせの会やリユースフェアーを開催した。 ・学校図書館へのブック便の貸出冊数が 4,213 冊にのぼり、前年度比約11%の増となった。 ・中央図書館では、森林環境贈与税を活用し、文庫架と雑誌架の更新を行った。

【OPEN STREET+の様子】



点検・評価 令和6年度 ■実績値 5.4冊	・本市図書館システムの全面入替は12年ぶりとなることから、ICT化の進化に利用者も職員も戸惑いつつ、新システムを使いこなしている。自動貸出機については、知名度が上がるにつれ、利用率も上昇しており、引き続き利用率向上を図る。 ・保育園・幼稚園つづじ号については、令和6年度に自動車文庫のステーションの見直しを行うことにより、年間約50日分の運行枠を確保した。 運行枠大幅増に伴い、各園への巡回回数も増加し、子どもたちへの読書環境の充実が図れた。 ・初めての地域交流イベントへの参加で戸惑いもあったが、折り紙の本を見ながら子どもたちが折り紙をおったり、絵本を読んだり、それぞれに楽しんでおられ、図書館の良いPRとなったと考える。 ・学校図書館へのブック便の貸出冊数増については、図書館司書が、学校司書連絡会議や学校司書研修会に参加させていただき、学校司書の皆さんと情報交換を行い、連携を深めていることが、貸出冊数の増加に結びついていると考える。 ・文庫架と雑誌架の更新につきましては、日々増え続ける、文庫本の蔵書数に対応するため、書架を拡大し、利用者の利便性向上を図った。 また、雑誌架については、近年の雑誌サイズに対応するため、書架の展示部分のサイズを大きくし、多くの雑誌の表紙が一目でわかるよう、リニューアルを行った。 
課題	継続課題として ・コロナ化で減少した図書館利用の回復。 ・図書館を利用していない市民への働きかけ。 ・「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づく、関係課との推進会議により一層の連携。第3次計画の新たな数値目標に向け、更なる子どもの読書活動の推進。 ・地域行政資料の保存・活用のために書庫の拡大。 ・建物全体が経年劣化しており、利用者の安全、安心の確保が必要。 ・非来館型の利用を促進するための方策(電子書籍等)について、導入自治体の利用状況や費用対効果も含め継続して検討中。 ・災害時の避難所運営など、緊急時の対応に備え、職員・会計年度任用職員の事務分担を見直し、モチベーション維持を図れるように指揮系統を確立する必要がある。
今後の方向性	・第3次富田林市子ども読書活動推進計画に基づく子どもの読書環境の一層の充実。 ・地域交流イベントへの積極的な参加と内容の充実 ・高齢者サービスの充実に向けて、委員会の開催を継続。 ・読書バリアフリー法を受け、本が読みづらい利用者のため拡大読書器の設置を検討。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：図書館

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	図書館資料整備事業
事業目的	図書館法の理念に基づき、生涯学習の拠点施設として、収集方針に基づいた幅広い分野の図書館資料を収集し、整え、あらゆる年代の市民に情報の提供に努める。
事業概要	社会の様々な変化に伴い、高度化、多様化する市民の学習意欲、利用者のニーズに対応するため、収集方針に基づき地域行政資料や様々な分野の資料の収集に努め、学校への支援、広域利用にも対応し、赤ちゃんから高齢者まで全ての市民に新鮮で、楽しく、役立つ資料を提供する。
令和6年度の 主な実施内容 令和11年度 ■成果指標 / 目標値 市民一人あたりの蔵書冊数 4.0冊	・令和6年度は、一般図書 7,731 冊、児童図書 2,440 冊、視聴覚資料 152 点、合計 10,323 点を購入。 
点検・評価 令和6年度 ■実績値 2.9冊	・あらゆる世代の市民に対し、幅広い分野の資料を継続的に収集し、情報提供に努めることができた。 ・図書館で役目を終えた一般図書は、市民会館に設けたりサイクル図書コーナーの図書として活用し、また、児童書等については、保育園・幼稚園・小学校等の関係部署に、リサイクル図書として提供し活用していただいた。
課題	・「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づき、更に児童に役立つ図書を充実させていく必要がある。 ・日本語を母語としない市民への多言語の資料収集。 ・市民に喜ばれ役立つ資料を、本の単価が上がるなか、予算内で購入するため職員の選書能力の向上が必須。 ・電子書籍について、導入自治体の利用状況や費用対効果も含め継続検討する。
今後の方向性	・子ども読書活動を推進するため、赤ちゃん絵本や児童図書の充実、学校支援のための調べ学習に役立つ図書の充実に努める。 ・利用が増えている大活字本や朗読CDなどの充実に努める。 ・活字による読書や来館が困難な利用者、日本語を母語としない利用者への多様なサービス提供。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：図書館

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	ブックスタート事業										
事業目的	「子ども読書活動の推進に関する法律」「富田林市子ども読書活動推進計画」に基づいた子どもの読書環境の整備を進めると同時に、乳幼児期の段階から保護者に対する読書啓発を図り、将来の子どもの豊かな心の成長を育む読書習慣に繋げることを目的とする。										
事業概要	子育て支援の一助として、健康づくり推進課と連携し、4か月児健診時に乳児に絵本を配布し、同時に保護者に対して、乳幼児との絵本を通したふれあいの大切さと必要性を伝え、図書館の利用案内、フォローアップ事業の「あかちゃんのおはなし会」の紹介をする。										
令和6年度の主な実施内容	・4か月児健診で赤ちゃんにプレゼントする絵本を配布。 【ブックスタート配布絵本冊数推移】 単位：冊 <table><tr><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>598</td><td>516</td><td>524</td><td>534</td><td>425</td></tr></table> ・フォローアップ事業として「あかちゃんのおはなし会」を実施。 実施回数・参加人数:47回実施、237人 (図書館システム入替のため令和7年1月は中止)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	598	516	524	534	425
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
598	516	524	534	425							
点検・評価	・近年、健診形態の変更により、1組ずつの絵本の読み聞かせが実施できておらず、絵本配布や図書館利用の説明にとどまっている。 しかし、保護者には、絵本を通した言葉かけや親子のふれあいの大切さを伝えることができた。 ・保健センターでの4か月児健診以外に、かかりつけ医で受診される方もあるため、健康づくり推進課と連携を図り、健診案内文書に図書館でも絵本をプレゼントできることを記載していただいている。										
課題	・乳幼児サービスボランティアの育成・確保のため、乳幼児サービスボランティア育成講座を継続する必要がある。 ・「あかちゃんのおはなし会」は、6か月から1歳未満児と1歳児の実施に加え、金剛図書館で実施している2歳児対象の部を中央図書館でも開催を検討する必要があるが、会場確保の面で厳しい状況である。 ・現在健診受付から、健診終了までの時間が限られており、絵本の読み聞かせをする時間があまりとれていない。										

今後の 方向性	・配布用絵本は、3種類から1冊選択してもらいプレゼントしている。親子で楽しめる絵本を選ぶように心がけるとともに、毎年内容を含め絵本の見直しを図る必要がある。 ・現在の健診形態では、時間に余裕がないが、絵本の読み聞かせができるよう、健診のタイムスケジュールの変更等に合わせて臨機応変に対応する。	
--------------------	--	---

(3) 点検・評価 未実施事業

昨年度の点検・評価報告書(令和5年度実績)で点検・評価シートを作成したが、今回の報告書で作成しなかった事業及びその理由を記載しています。

○生涯学習推進事業(所管課:生涯学習課)

令和5年6月の富田林市文化芸術振興ビジョンの策定を機に、それまで生涯学習推進事業で実施していたまちかどミュージアム事業を令和6年度からは文化振興一般事務に移動したため。

○文化振興基金運用事業(所管課:生涯学習課)

令和5年6月の富田林市文化芸術振興ビジョンの策定を機に、令和6年度からは文化振興一般事務に移動したため。

○若者会議提案事業(所管課:生涯学習課)

令和6年度は生涯学習課が担当となる新規事業の提案がなく、実施がなかったため。

「教育に関する事務の点検・評価報告書（令和6年度実績）」への所見

大阪教育大学教授 森田英嗣

1. はじめに

平成29年度からの10年間について策定されたまちづくりの未来像である「総合ビジョン」、および必要な施策を示した「総合基本計画」に、さらには令和2年に策定された「第2期富田林教育大綱」に基づいて展開されている諸事業について、令和6年度の実績を、ご報告いただいた。昨年度に続き、目標指標が達成度とともに明示されることに加え、専門的用語の解説がなされ、市民への報告を意識した工夫がみられ、説明責任を真摯に果たそうとされていることがうかがえ好感が持てた。

以下、課(室)ごとに所見を述べたい。

2. 所管課ごとの事業について

A. 教育総務課

個別施策3「学校園における教育の充実」のもとで2つの事業が展開されている。

「小学校施設改修事業・中学校施設改修事業・幼稚園施設改修事業」では、安心安全な施設環境の確保に向けて、経年劣化する施設の老朽化改修、電気給排水設備等の改修により教育環境の改善が図られている。今後は、安全性の確保を最優先事項にすえた事業展開から、長寿命化、非構造部材の耐震化等の課題に重点が移っていくようであるが、そこでも計画的で効率的な事業展開をお願いしたい。

「小学校大規模改修事業・中学校大規模改修事業」では、「内部環境の改善を図る改造工事等」としてトイレの洋式化がめざされており、順調に進捗しているようである。今後はバリアフリー化の取り組みも進められるとのことで、ますますの充実が期待される。

B. 教育指導室

個別施策3「学校園における教育の充実」のもとで6つの事業が展開されている。「学校体制構築支援事業」は、ひきつづき、市費による加配教員の配置、教育支援センター、スペシャルサポートルームの開室など、総合的で多面的な支援が行われていることが確認できた。学力調査の結果については、小学校で「国、府との差が縮まらない状況」があるとのことであるが、その因果関係をもう少し緻密に分析し、加配教員の活用による少人数指導をはじめ、授業改善や小中一貫教育の推進、ICTによる業務改善など多様な取り組みとともに、解決をめざしていただきたい。

「学校教育運営事業」では、学校協議会などの各種委員会を開催し、学校教育の運営を支える取り組みが実施されていることが確認できた。近年「いじめ認知件数」が増えているが、これは必ずしもいじめの実数が増えているということではなく、それを認知する感度が増したためだとも考えられる。引き続き、丁寧な分析とSC、SSW等との他職種連携による支援体制の充実をめざしていただきたい。なお、今後は学校協議会が学校運営協議会と変更されることにともない、地域や保護者の学校運営への参画をとおした解決の試みも模索されてよいだろう。

「教育コミュニティ推進事業・地域による学校教育支援事業」では、地域教育協議会の運営や学校ボランティアの組織などをおこなっている。生涯学習課との連携が前提となる事業とのことでもあり、課を超えた連携のノウハウも積み上げていっていただきたい。

「教育研究事業」では、教育委員会や学校園主催の研修会の充実を通して、教職員の資質向上がめざされ、多様な研修メニューの提供、研究委嘱の推進などが行われている。もとより教員の資質向上は、教育の充実や改革の中心的なテーマであることから、国家的な教育課題だけでなく、市独自の教育課題にも等しく目を配り、民間活力や、オンラインの活用を含めた、従来の常識にとらわれない取り組みを今後も模索して頂きたい。

「小学校教育用パソコン管理事業・中学校教育用パソコン管理事業」では、GIGAスクール構想のもとで整備されたICT機器を活用し、情報活用能力の育成などがめざされている。目標指標の「授業での活用頻度が週3回以上」の達成にもう一息という状態であり、今後の更なる取り組みが期待される。と同時に、ICTを活用すべきところと、そうでないところの区分けについても、そろそろ意識化して良い課題のように思われた。

「幼稚園教育推進事業」では、教員（講師）、幼稚園サポーターの配置の側面から幼稚園教育を総合的に支援するとともに、「架け橋プログラム」による小学校との連携強化がめざされている。昨年度に続き、目標指標の「年度当初の担任人材充足率100%」が達成され、4月当初の人材配置や交流保育が期待通りに始められる環境になっていることが確認できた。「架け橋プログラム」に関わっては、現在の指標に加えて新しい指標を設定して進捗を確認して頂くことも考えられて良いと思われた。

C.学校給食課

個別施策3「学校園における教育の充実」のもとで2つの事業が展開されている。「学校給食管理運営事業・幼稚園給食事業・学校給食施設整備事業」では、正しい食習慣を身につけたり、栄養バランスのとれた給食の提供が、食や自分の身体に関する関心を育てつつなされていることが確認できた。その基盤となる給食費の徴収管理についても適切に取り組まれている。「安全安心な地元産野菜・米の使用量」を10,000kgに増加させるという成果指標についても、気候の影響などもあり得るところであるが、引き続き、追求して頂きたい。

「中学校給食事業」では、「生徒考案献立」や「万博献立」などの実施を通して食への関心を高める取り組みとともに、安全安心な給食の提供をおこなっている。今年度も喫食率が前年度から5%ほど上昇したとのことで取り組みの成果が確認できた。引き続き、「全員給食」への移行をめざした取り組みが期待される。

D.生涯学習課

個別施策4「未来の担い手の育成」のもとで、「若者施策推進事業」が展開されている。そこでは、20名からなる「若者会議」を年間9回開催し市に対して4件の施策が提案された。今年度も応募数が少なかったとのことであるが、引き続き幅広い若者のまちづくりへの参画の契機として頂きたい。

生涯学習課では、さらに、個別施策6「市民文化・スポーツの推進」のもとで、3つの事業が展開されている。「文化振興一般事務」では、富田林市文化芸術振興ビジョンに基づいた「富田林

まちかどミュージアム事業」や、富田林市文化団体協議会との連携による市民文化祭の開催等が実施された。文化振興助成事業も有意義な取り組みであり、引き続きの実施が期待される。

「スポーツ指導普及事業」では、市民の健康・体力づくり及び小中学生を対象としたスポーツ指導者の養成を実施している。目標指標が「ジュニアスポーツリーダースクール参加者」の指標が300人のところ、令和6年度の参加者数は昨年度から倍増して240人を記録した。それにもかかわらず全体として減少傾向であるとのことで、目標の300人を達成するにはもう一工夫必要のようである。具体的な検討をお願いしたい。

「市民スポーツ活動推進事業」では、市民の体力向上を目的として、スポーツ機会を提供するとともに、社会体育団体及び指導者の育成が図られている。競技人口の減少や高齢化などにより「参加者数が伸び悩んでいる」とのことであるが、新しい発想による活性化が期待される。

E.文化財課

個別施策29「自然・歴史環境の保全」のもとで6つの事業が展開されている。「文化財管理事業」では、文化財保護審議会、文化財保存活用地域計画策定協議会の開催などを通して、文化財などの歴史的資源の保全を図る取り組みが日常的に行われている。文化財保存活用地域計画に基づきつつ、少子高齢化時代の文化財維持についての検討と取り組みの深化が期待される。学校教育との連携は期待が持てる分野である。

「埋蔵文化財調査事業」では、文化財保護法に基づいた発掘届け出の受付や、富田林市開発指導要綱に基づいた指導、協議、立ち会いに加え、事前・試掘・本調査を行っている。課題として一昨年度、昨年度と同様に、「発掘調査で出土した遺物を保管する施設が不足」していることが挙げられている。そろそろ解決の目処をつけておく必要がある。

「寺内町保存事業」では、伝統的建造物群保存審議会の開催等、寺内町の町並み保存に係る取り組みに加え、町全体の活性化にかかわる取り組みが行われている。成果指標として「修理修景に関する相談件数」が68件との設定であったが、令和6年度はその数は37件にとどまった。相談しやすい仕組みを作るなどの工夫も必要であろうと思われる。

「歴史資料保存活用事業」では、歴史資料の整理・保存及び活用と、文化財の普及啓発の取り組みがなされている。令和6年度は大阪大谷大学博物館との共催事業を執り行うなど、新しい試みが見られた。外部組織との共同は資料活用の可能性を開く取り組みと考えられる。今後も大いにそうした機会を活用し、成果指標として挙げられている閲覧数や来場者数に反映させていって頂きたい。

「寺内町整備事業」では、伝統的建造物の修理や新築・改築等の現状変更行為への受付・許可、内容相談、技術指導等の取り組みを行い、歴史的町並みの保全が行われている。成果指標として「修理・修景物件に関する相談件数」が68件と挙げられているが、これは、「寺内町保存事業」と同様の指標である。異なる事業であるので、可能であれば指標の工夫があって良い。

「文化財施設管理事業」では、指定管理4施設と登録有形文化財旧田中家住宅を含む5施設の維持管理・運営と活用が行われている。成果指標が「富田林寺内町4施設ウェブサイト閲覧数」30,000回となっているが、令和6年度の実績値が24,080回とのことであと一息である。指定管理者とも協力し、施設管理事業の持続可能性を高めていただきたい。

F.公民館

個別施策5「生涯を通じた学びの推進」のもとで2事業が展開されている。「中央・東・金剛公民館事業」では、講座や行事等について例年通りのペースで実施でき、公民館まつりにおいても多くの参加者を確保できている。ただ、公民館の講座の参加者の77%が60歳以上とのことで他の年代にも参加いただけるような取り組みを期待したい。また、引き続きICTを用いた事業展開にも期待したい。

「公民館運営審議会事務」では、公民館運営審議会の開催の取り組みがなされている。昨今公民館が抱えている課題についての意見が出されるようになってきたとのことであるので、課題を整理して将来を適切に展望した取り組みの推進をお願いしたい。

G.図書館

個別施策5「生涯を通じた学びの推進」の下で3つの事業が行われている。「中央図書館事業・金剛図書館事業」では、図書館本来の使命として、全ての市民に役立つ資料の収集と提供のサービスが行われている。引き続き、学校図書館との連携、図書館を利用していない市民への働きかけ、非来館型利用の促進等に邁進して頂きたい。また、読書バリアフリー法に基づいた拡大読書器の設置の検討が進んでいるとのこと、この点について大いに期待したい。

「図書館資料整備事業」では、あらゆる市民のニーズに応えるための幅広い資料の収集がめざされており、心強い。昨今の、外国にルーツのある人たちの増加傾向を鑑みるに、互いの文化を理解し合うことに寄与するような資料の充実(特に外国にルーツのある人たちが日本を理解する資料だけでなく、ホスト側の富田林市民が、外国にルーツのある人たちの文化を理解することに貢献するような資料も含めて)にも、引き続き期待したいところである。

「ブックスタート事業」では、乳幼児とその保護者向けに読書環境の整備を進め、読書啓発を図るとともに、豊かな心も成長を育む読書習慣の形成をめざしている。4ヶ月児健診での絵本の配布の目標値は100%となっているが、令和6年度の達成度は82.5%とのことで、昨年度からも数値が下がってしまっている。配布方法について、実効性のある工夫が必要だと思われる。

3. 終わりに

全体として、教育委員会事務局の皆さんの使命感に裏付けされたご尽力が把握できた。ただ、振り返ってみるに、こうした成果を紡いできた事務局の皆さんの、いわゆる働き方については、どのように管理され、評価されているのか、という疑問が去来した。すなわち、教育に関する事務についての点検評価の中に、教育委員会における事務業務の基盤となる、事務局の方々の働き方についての点検評価も実施され、さらには今後公表されて良いのではないかとと思われるのだがいかがだろうか。

以上

「教育に関する事務の点検・評価報告書（令和6年度実績）」への所見

大阪工業大学 教務部教育センター・特任教授 堂之本 篤弘

1. はじめに

富田林市では、平成29年度(2017)からの10年間、めざすべきまちの将来像等を掲げた「総合ビジョン」、並びに将来像の実現に向けて必要な施策を示す「総合基本計画」を策定し、また、令和2年9月には第2期富田林市教育大綱を策定し、「夢と希望が輝き、笑顔あふれるまち 富田林」を基本理念としたうえで、6つの基本方針を重点的に取り組んでいる。この報告書は、令和6年度(8年目)の「教育に関する事務の点検・評価報告書」に対する所見である。

最初に市教育委員会の活動概況を示し、続いて、総合基本計画での施策体系を示し、各事務事業についての目的、概要、主な実施内容を記載したうえで、「点検・評価」を行い、「点検・評価」から抽出された課題等についても考察し、その対応策、今後の方向性も確認することができる。各事業については、写真、図・表、また昨年度より目標指標・達成度なども記載され、わかりやすい報告書となっている。これにより施策の進捗状況が把握でき、地域住民に対する説明責任を果たしていると考えられる。

先日、この令和6年度実績について、関係者と質疑や意見交換を行い、これをもとに「2. 所管課ごとの事業について」と「3. 全体を通した所見」について述べたい。

2. 所管課ごとの事業について

(1) 教育総務課

個別施策3「学校園における教育の充実」のもと、2つの事業が実施された。

・「小学校・中学校・幼稚園施設改修事業」では、教育施設長寿命化計画をトータルコストの縮減、予算の平準化を図りながら、効率的・効果的に進められている。令和6年度も施設瑕疵による事故は発生していない。

・「小学校・中学校大規模改造事業」では、小・中学校トイレ改修事業計画により、改修工事が行われ令和11年度に洋式化率61.3%となるよう教育環境の整備に努めている。ただ、令和6年度でトイレ洋式化率は小学校47.0%、中学校46.5%に留まっており、近隣市町村の情報も参考にし、さらなる改修工事が望まれる。

(2) 教育指導室

個別施策3「学校園における教育の充実」のもと、6つの事業が実施された。

・「学校体制構築支援事業」では、児童生徒及び保護者支援、学校課題解決のための支援人材(SSW・市費講師等)を配置し、学校課題の未然防止・解決に努め、学校教育活動の充実を図っている。不登校児童生徒の学習支援・体験活動や保護者も対象とした教育相談等を行う教育支援センターを開室し、全中学校にスペシャルサポートルームを常設するなど支援体制の充実を図っている。加えて、小学校への拡充と体制づくりの充実に努めている。ただ、ここ数年の全国学力・学習状況調査の推移を見ると、令和6年度では、小・中学校とも国語、算数・数学で全国平均より低く、低位へ移る傾向が見られる。「授業がわかる」は学校教育の基本となるところであり、教育委員会として早急な対応が必要である。この点は、後述の「3. 全体を通した所見」でもう少し詳しく触れたい。

・「学校教育運営事業」では、令和6年度から設置された学校協議会など各種委員会を開催するなど、学校教育の運営に関する業務を実施し、円滑な学校運営を図っている。ただ、いじめ問題対策委員会からの報告「いじめの認知件数」を見ると、この5年間でいじめ認知件数は3.3倍

に増えており、厳しい教育環境にあると考えられる。「いじめは重大な人権侵害」であり、安心安全な学校教育の基本となるところである。先述の学力低下傾向と併せて、教育委員会の早急な対応が必要である。この点も後述の「3. 全体を通した所見」でもう少し詳しく触れたい。

・「教育コミュニティ推進事業・地域による学校教育支援事業」では、地域教育協議会の運営や地域と学校が協働しながら、学校・地域・家庭が活性化する取組みが行われている。令和6年度から設置された学校運営協議会の成果を今後活かしていただきたい。

・「教育研究事業」では、教育現場に求められる取組みが多様化する中で、現場教職員のニーズにあった研修の設定と教育課題解決に向けた研修が実施されており、オンデマンド形式等の研修も検討されている。教員の選択の自由度は尊重しつつも、喫緊の教育課題に対しては全員が共有できる研修等もメニューに入れても良いように思われる。今後も教員教職員の資質向上を図り、教育力の向上に努めていただきたい。

・「小学校・中学校教育用パソコン管理事業」では、令和2年度に整備されたICT環境を効果的に活用し、学習活動の充実に努めている。また、不登校児童生徒などに学習用端末を活用して、教室での授業を見られるようにしたり、ドリルアプリでの学習ができるようにしている。ICT機器の授業での活用は、目標としている活用割合(6時間中2時間)を達成しており、小・中学校とも大阪府の数値を超えている。今後は「量」から「質」の充実に傾注し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善となることを望む。

・「幼稚園教育推進事業」では、幼児の発達状況に応じたきめ細かい指導と保護者への子育て支援活動を推進している。担任人材充足率100%を実現するなど人材確保にも努めている。今後、策定予定の「幼保あり方基本方針」に活かして欲しい。

(3) 学校給食課

個別施策3「学校園における教育の充実」のもと、2つの事業が実施された。

・「学校給食管理運営事業・幼稚園給食事業・学校給食施設整備事業」では、学校給食センターで地元産野菜・米の使用に努め、調理された給食を小学校の児童・幼稚園の園児に提供され、安全安心で栄養バランスのとれた給食が提供されている。給食費の徴収にも引き続き、努力願いたい。

・「中学校給食事業」では、自校式給食を希望選択により提供されており、年間喫食率は62.7%(昨年度より5.4%上昇)となっている。地元産野菜・米の使用に努め、機器の入替や老朽化対策に努めながら、今後とも未来の担い手である生徒を育む給食事業に努力願いたい。

⇒両事業とも給食材料高騰の中、地元産食材の活用を図り、安全安心で質・量を維持した給食が提供されている。

(4) 生涯学習課

個別施策4「未来の担い手の育成」と個別施策6「市民文化・スポーツの推進」のもと、4つの事業が実施された。

・「若者施策推進事業」では、「若者会議」が年間9回開催され、提案施策数4件のうち、「重点テーマ」3件を採用した。活力ある発想を持つ高校生や大学生の若者が、活躍できるまちづくりの推進に期待したい。

・「文化振興一般事務」では、富田林まちかどミュージアム事業など市文化芸術振興ビジョンに基づく各種事業を実施している。また、文化団体協議会との連携による市民文化祭の開催や市内の文化団体が行う事業に助成金を交付している。まちかどミュージアム事業については、展示作品数が増え展示箇所数を増やしており、市民が身近なところで文化芸術に触れることができる貴重な事業であるので、今後も継続していただきたい。

・「スポーツ指導普及事業」では、市民の健康・体力づくりの事業だけでなく、小中学生対象のスポーツ指導者養成事業も行っている。ジュニアスポーツリーダースクールでは、スポーツを通じて地域のリーダーとなる子どもを育成している。ファミリースポーツ大会などをスクールの一環として加え、

参加者数を増加させている。今後もジュニアスポーツリーダーの育成に努力願いたい。

・「市民スポーツ活動推進事業」では、市民の体力向上を目的として、多く参加できる事業・大会を開催するとともに、社会体育団体及び指導者の育成を図っている。ただ、今後に向けては、高齢化、競技人口の減少や社会の変化への対応など課題も多い。近年の猛暑などの異常気象に配慮しながら、市民のニーズに沿った取組みとなるよう検討していただきたい。

(5) 文化財課

個別施策29「自然・歴史環境の保全」のもと、6つの事業が実施された。

・「文化財管理事業」では、市内の文化財等について維持管理及び指導等を行うことにより、歴史的資源の保全を行っている。そして、令和7年度から10年間の文化財保存活用地域計画を策定し、文化庁の認定を受けた。また、小学校で埋蔵文化財の出前授業を実施し、地域の子どもたちに地域の歴史や文化への関心を深め、将来の担い手として文化財を大切にしようという気持ちを育んでいる。

・「埋蔵文化財調査事業」では、文化財保護法に基づき破壊される可能性のある埋蔵文化財を発掘調査し、記録保存している。また、大阪大谷大学において、博物館講座「喜志南遺跡と古市古墳群」と調査報告会が行われ発掘調査の成果を地域社会に還元し、地域の歴史や文化財に対する関心を醸成されている。

・「寺内町保存事業」では、寺内町内の景観照明灯の電球のLED化が完了するなど、施設の維持管理や修繕を実施している。建造物の老朽化や所有者の高齢化・後継者不足などで歴史的町並みが失われる可能性があり、寺内町の継続的な発展のため引き続き地元関連団体等と連携し、保存の推進と町全体の活性化を図ってほしい。

・「歴史資料保存活用事業」では、埋蔵文化財センターの管理、歴史資料の整理・保存、歴史資料を活用した展示・講演会等の普及啓発事業が行われている。大阪大谷大学との共催事業として、「大とんだばやし展」を開催し、市所蔵の出土遺物等を展示し、市内外から多数の閲覧者に鑑賞された。また、展示会場内の画像をうちdeミュージアム(デジタルアーカイブ)に公開するなど有効な情報発信が行われた。資料の保管環境については、市全体の施設再編整備を行うなどして、将来に向けた活用が急がれる。例えば、学校施設の空き教室などの余裕スペースを活用するなど、児童生徒の閲覧や授業での活用が可能となる保管場所を検討するなど、市全体で協議を進めていただきたい。

・「寺内町整備事業」では、寺内町内の伝統的建造物の修理や一般建造物の修景に必要な経費の一部を補助し、歴史的町並みを保全し景観形成を推進している。建物所有者の高齢化や空き家問題などが顕在化しているが、寺内町の文化財的価値向上を図り、今後とも後世へ継承されていくことが望まれる。

・「文化財施設管理事業」では、寺内町内(重要文化財旧杉山家住宅等)4施設と(登録有形文化財旧田中家住宅等)5施設の維持管理・運営と活用が図られている。指定管理者によるSNS等を活用した情報発信により、施設入館者数は新型コロナウイルスの影響から回復し、増加傾向にある。今後もピーターの確保や交流人口の増加に向けた取組みに努めていただきたい。

(6) 公民館

個別施策5「生涯を通じた学びの推進」のもと、2つの事業が実施された。

・「中央・東・金剛公民館事業」では、3館合計で67講座、3館合同発表会やクラブ自主講座、公民館まつりなどが実施され、活気ある地域社会の構築するための事業が展開されている。また、令和4年から導入された施設予約システム(自宅で施設予約ができる)が浸透し、利便性が向上している。老朽化が進む施設管理業務、バリアフリー化などの課題があるが、生涯学習の観点からも公民館活動の重要性が増している。You Tubeによる講座動画配信等のオンライン配信等の導入により、公民館活動のさらなる充実が期待される。

・「公民館運営審議会事務」では、運営審議会が年2回定例化されている。事業報告・事業計

画に終わらず、ICTを活用した事業の推進など、少子・高齢化時代の公民館の課題や方向性について、継続して審議いただきたい。

(7) 図書館

個別施策5「生涯を通じた学びの推進」のもと、3つの事業が実施された。

・「中央図書館事業・金剛図書館事業」では、「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づき、令和5年度より公立の保育園に自動車文庫の乗り入れ、貸出を行っており、令和6年度には幼稚園に514冊、保育園に1,415冊の貸出が行われた。また、地域に運行している自動車文庫12ステーションを2週間に1度の巡回を維持している。新たに、金剛駅周辺でウォークブル社会実験「OPEN STREET+」への参加、公民館まつりにも展示や読み聞かせの会を開催するなど、読書環境の充実に努めている。図書館システムの全面入替やICT化を進めるなど利用率も上昇している。今後も生涯学習の拠点となるよう、また、子どもの読書環境の充実に努めてほしい。

・「図書館資料整備事業」では、「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づき、児童に役立つ図書の充実に努めているだけでなく、学校支援のため調べ学習に役立つ図書の充実に努めている。また、日本語を母語としない市民への多言語の資料収集や電子書籍についても、導入自治体の利用状況や費用対効果も含め検討されている。今後も赤ちゃんから高齢者まで全ての市民に新鮮で、楽しく、役立つ資料の提供に努めていただきたい。

・「ブックスタート事業」では、子育て支援の一助として健康づくり推進課と連携し、絵本の配布を行ない、図書館の利用案内やフォローアップ事業の「あかちゃんのおはなし会」を紹介している。今後も子どもの豊かな心の成長を育む読書習慣に繋げていってほしい。

3. 全体を通した所見

最後に、令和6年度の「教育に関する事務の点検評価・報告書」全体を通した所見を2点まとめる。

(1)「国語、算数・数学の学力低下」傾向と「いじめ認知件数の増加」への対応(教育指導室)

個別施策3「学校園における教育の充実」で、成果指標として設定している全国学力・学習状況調査で、ここ2～3年の国語、算数・数学の学力において、大阪府や全国の平均正答率よりプラスで推移していた数値が昨年度にマイナスとなり、令和6年度にはマイナスの数値が大きくなっている。「箱ひげ図」を見ても国語(小学校)の中間層のばらつきが目立っている。算数においても小学校高学年で学習する「割合・比」、「倍」は、中学校の数学への基本となる概念であり、今後の学習が心配される。また、いじめ認知件数は、ここ5年で3.3倍(496件)に増加しており、市の児童生徒数(約7,000人弱)を1クラス35人として計算するといじめの認知件数は、約2.5件(/クラス)となり看過できない。「いじめは重大な人権侵害」であり、安心安全な学校教育を脅かし不登校などの原因にもなるだけでなく、学習にも負の影響を及ぼす。これらの対応は、各学校任せにせず、教育委員会のリーダーシップを発揮した早急な対応が望まれる。

(2)スモールシティ「富田林市の将来構想」の具現化

少子高齢化の波は富田林市にも猛烈な勢いで進んでいる。以前12万人以上あった市の人口は、10万人近くに減ってきており、今後ますます高齢者が増え、子どもの数が減っていく。特に、子育て世帯の減少が増えている。これまで通りの予算や施設が維持できないこととなり、これは幼稚園、小・中学校や図書館・公民館施設についても例外ではない。学校も含めて公共施設の統合(再編)で活力ある将来像をめざし、早急な再編(縮小)整備計画が急がれる。市全体の教育力向上に繋がる対応を考えていただきたい。

資料編目次

1.教育委員会所管施設	
(1)市立学校園等	53
(2)生涯学習・社会教育施設	54
2.富田林市の人口推移	55
3.年度別児童・生徒・園児数の推移	55
4.就学援助	56
5.富田林市奨学金	56
6.全国学力・学習状況	56-57
7.小学校、中学校の不登校の状況	57
8.スクールカウンセラーの相談件数	57
9.中学校給食・喫食率の推移	58
10.すばるホール施設利用状況	58
11.きらめき創造館利用状況	59
12.放課後子ども教室参加状況	60
13.出前講座開催状況	60
14.はたちのつどい参加状況	61
15.市民文化祭参加状況	62
16.スポーツ施設利用状況	63
17.スポーツ事業参加状況	64
18.市内の文化財	65
19.公民館利用状況等	66-67
20.図書館利用状況	68

1.教育委員会所管施設

(1) 市立学校園等

[小学校]

令和6年5月1日現在

学 校 名	所 在 地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち 運動場面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	児童数 R6.5現在
富田林小学校	常盤町 1 6 番 2 0 号	M05/05/14	12,998	6,355	4,921	723	384
新堂小学校	若松町四丁目 5 番 4 号	M06/10/01	18,334	7,848	7,817	1,365	306
喜志小学校	木戸山町 1 番 3 6 号	M06/02/25	10,328	4,692	4,212	673	373
大伴小学校	南大伴町一丁目 2 番 2 0 号	M38/05/11	12,183	6,964	4,843	725	346
彼方小学校	大字彼方 4 1 1 番地	M06/05/01	16,066	6,081	4,861	720	219
錦郡小学校	錦織南一丁目 8 番 1 号	M05/08/15	10,833	5,101	4,315	743	216
川西小学校	新家一丁目 3 番 1 号	M26/04/01	15,469	6,609	4,997	725	284
東条小学校	大字龍泉 5 6 6 番地	M05/05/01	12,766	4,942	2,970	636	75
高辺台小学校	高辺台三丁目 1 番 1 号	S43/01/08	15,993	6,646	6,154	703	186
久野喜台小学校	久野喜台一丁目 1 6 番 1 号	S44/04/01	19,803	9,156	5,659	758	340
寺池台小学校	寺池台四丁目 3 番 1 号	S45/01/01	17,558	6,693	6,189	754	482
伏山台小学校	伏山二丁目 1 番 1 号	S52/04/01	18,581	6,990	3,904	727	184
喜志西小学校	梅の里四丁目 6 番 1 号	S53/02/22	17,184	9,412	3,019	725	213
藤沢台小学校	藤沢台二丁目 3 番 1 号	S55/04/01	26,224	13,448	5,242	726	383
小金台小学校	小金台三丁目 1 1 番 1 号	H01/04/05	24,275	11,181	6,443	919	409
向陽台小学校	向陽台五丁目 1 番 1 号	H02/04/01	26,754	9,774	5,793	919	382

[中学校]

学 校 名	所 在 地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち 運動場面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	生徒数 R6.5現在
第一中学校	寿町一丁目 3 番 5 号	S22/04/01	25,372	13,326	8,115	983	311
第二中学校	新家一丁目 4 番 1 号	S25/04/01	22,458	13,508	5,915	1,213	250
第三中学校	大字佐備 1 5 番地	S46/04/01	25,889	12,351	6,002	850	290
金剛中学校	寺池台一丁目 1 番 1 号	S43/01/08	30,253	14,481	7,914	1,018	430
葛城中学校	藤沢台三丁目 4 番 1 号	S55/04/01	33,310	17,177	6,198	1,018	230
喜志中学校	梅の里一丁目 7 番 1 号	S58/04/01	21,781	8,134	5,178	795	271
藤陽中学校	向陽台三丁目 4 番 1 号	S61/04/01	29,400	15,890	5,837	1,182	322
明治池中学校	小金台二丁目 1 1 番 1 号	H02/04/01	26,586	13,507	5,001	968	242

[幼稚園]

園 名	所 在 地	創立年月日	園地面積 (㎡)	園舎面積 (㎡)	園児数 R6.5現在
富田林幼稚園	常盤町 1 5 番 1 号	T03/10/01	2,554	906	30
新堂幼稚園	若松町四丁目 7 番 1 号	S28/04/10	3,411	942	18
喜志幼稚園	木戸山町 1 番 3 6 号	S29/04/10	1,541	421	54
大伴幼稚園	南大伴町一丁目 2 番 5 号	S29/04/01	2,340	660	16
板持幼稚園	西板持町八丁目 7 番 4 3 号	S28/02/04	1,755	584	休園
彼方幼稚園	大字彼方 3 2 5 番地の 1	S49/04/01	2,522	441	16
錦郡幼稚園	錦織南一丁目 2 番 1 0 号	S29/04/20	1,957	424	19
川西幼稚園	新家一丁目 3 番 2 号	S29/04/10	2,912	727	33
東条幼稚園	大字龍泉566番地	S49/04/10	539	243	休園
伏山台幼稚園	伏山二丁目 1 番 2 号	S52/04/11	4,821	700	10
喜志西幼稚園	梅の里四丁目 7 番 1 号	S55/04/10	1,700	462	休園
青葉丘幼稚園	加太二丁目 8 番 1 4 号	S31/04/01	2,884	970	28
津々山台幼稚園	津々山台一丁目 2 0 番 9 号	H05/04/12	2,000	667	42

※第 1 幼児教育センター併設

※第 2 幼児教育センター併設

[給食センター]

施 設 名	建 設 年 月	敷地面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)
学校給食センター	H30/02	6,491	3,753

(2) 生涯学習 ・ 社会教育施設

施 設 名	建設年月	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	主 要 な 施 設
す ば る ホ ー ル	H03/10	13,900	18,799	ホール（806席）、小ホール、プラネタリウム レセプションホール、音楽練習室、各種会議室
市 民 会 館 （ レ イ ン ボ ー ホ ー ル ）	S50/03 H01/03	9,511	9,625	ホール（400席）、多目的ホール（700席）、各種会議室
富田林市きらめき創造館 （ T o p i c ）	H29/06	887	1,765	自習室、スタジオ、グループ活動室 スタディールーム、ワーキングルーム、交流スペース
旧 杉 山 家 住 宅 （ 重 要 文 化 財 ）	S62/09	1,432	720	
寺 内 町 セ ン タ ー	H03/03	320	301	休憩室、展示室、会議室
じ ない ま ち 交 流 館	H18/03	322	316	交流サロン、情報コーナー、和室、会議室、防災倉庫、防火水槽
じ ない ま ち 展 望 広 場	H22/03	611	117	小広場、休憩室、防火倉庫、防火水槽
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー	H03/03	第一中学校敷地内	819	収蔵室、展示室、復元室、資料室、事務室、洗浄室、会議室
旧 田 中 家 住 宅	H24/03	770	233	和室1、和室2
中 央 公 民 館	S51/03	3,495	1,776 (図書館含む)	ホール、講座室、栄養室、和室
中 央 図 書 館	S51/03	中央公民館内	764	閲覧室、書庫、朗読会議室
金 剛 図 書 館	S58/02	3,800	1,876 (公民館含む)	閲覧室、書庫、朗読会議室
金 剛 公 民 館	S58/02	金剛図書館内	903	ホール、講座室、美術室、実習室、和室
東 公 民 館	S56/03	1,738	1,129	ホール、講座室、工作室、和室
中 央 公 民 館 喜 志 分 館	H12/04	レインボーホール内	237	美術室、講座室、和室
中 央 図 書 館 東 分 室	S56/06	東公民館内	57	図書室
市 民 総 合 体 育 館	S55/10	13,154	4,782	主競技場、剣道場、柔道場、卓球室、トレーニングルーム、会議室
総 合 ス ポ ー ツ 公 園	H06/03	136,462	—	多目的競技場、野球場、テニスコート（8面） ゲートボール場、わんぱく広場、展望台、ジョギングコース
青 少 年 ス ポ ー ツ ホ ー ル	S46/03		1,069	競技場
テ ニ ス コ ー ト 中 野	S52/08	13,703	—	ハードコート3面、クレーコート5面
金剛東	S56/04	1,385	—	アンツーカー2面
金剛	S53/11	680	—	アンツーカー1面
津々山台	S63/07	1,600	—	アンツーカー2面
津々山台第2	H08/04	1,540	—	ハードコート2面
グ ラ ウ ン ド 金 剛 中 央	S44/10	7,830	—	軟式野球、少年野球、ソフトボール
金 剛 東	S56/04	7,630	—	軟式野球
喜志プール横	S40/12	5,646	—	少年サッカー、女子ソフトボール
喜志（河川敷）	S53/09	48,761	—	軟式野球、ソフトボール2面
川西（河川敷）	S53/11	27,688	—	軟式野球、ソフトボール4面、ゲートボール8面
西板持（河川敷）	S56/04	37,946	—	少年野球、ソフトボール3面
石川（河川敷）	H19/04	12,120	—	サッカー1面、ゲートボール1面
若松東	H22/04	8,765	—	少年野球、ソフトボール1面
中野2号公園	S58/02	3,600	—	ソフトボール1面
中野3号公園	S58/01	5,680	—	少年野球、ソフトボール1面
錦織多目的	H27/04	7,751	—	グラウンドゴルフ他
ゲートボール場 津々山台	H10/04	1,080	—	ゲートボール2面
グラウンドゴルフ 川西（河川敷）	H22/04	8,660	—	グラウンドゴルフ2面
市民プール（富田林オーエンスプール）	H27/04	3,483	—	25mプール、幼児用プール

2. 富田林市の人口推移

年	人口
1970年	75,754
1975年	91,393
1980年	97,495
1985年	102,619
1990年	110,447
1995年	121,690
2000年	126,558
2005年	124,902
2010年	120,673
2015年	115,601
2020年	110,698
2023年	107,716
2024年	106,580
2025年	105,243



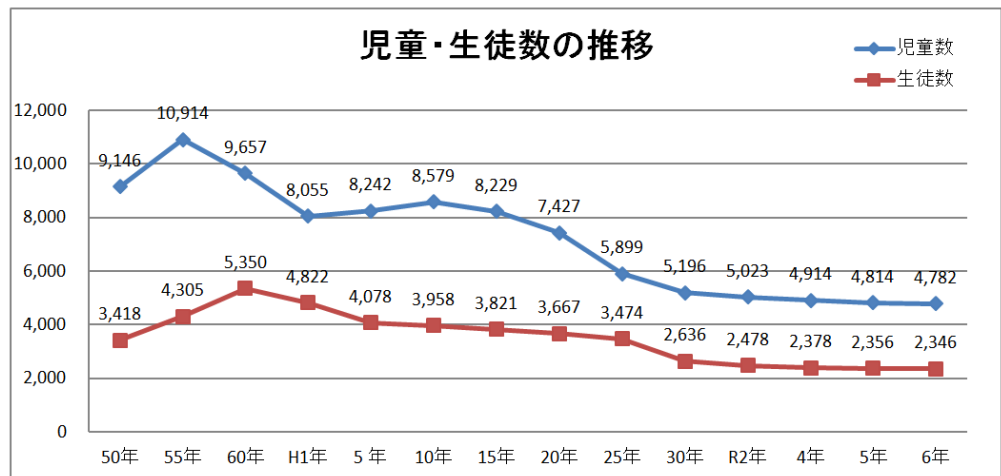
※1970年～2000年 国勢調査

※2005年以降 富田林市人口表（各年3月末時点）

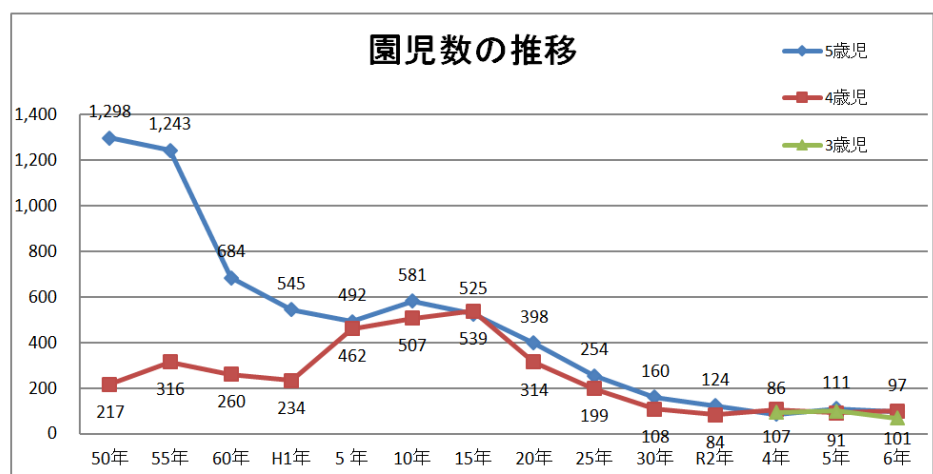
3. 児童・生徒数・園児数の推移

※各年 5月1日現在

年	児童数	生徒数
50年	9,146	3,418
55年	10,914	4,305
60年	9,657	5,350
H1年	8,055	4,822
5年	8,242	4,078
10年	8,579	3,958
15年	8,229	3,821
20年	7,427	3,667
25年	5,899	3,474
30年	5,196	2,636
R2年	5,023	2,478
4年	4,914	2,378
5年	4,814	2,356
6年	4,782	2,346



年	5歳児	4歳児	3歳児
50年	1,298	217	
55年	1,243	316	
60年	684	260	
H1年	545	234	
5年	492	462	
10年	581	507	
15年	525	539	
20年	398	314	
25年	254	199	
30年	160	108	
R2年	124	84	
4年	86	107	93
5年	111	91	100
6年	97	101	68



4.就学援助

就学援助認定者数（要保護＋準要保護）

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	1,366	1,165	1,067	1,014	1,000	968
中学校	699	679	626	615	580	529
合計	2,065	1,844	1,693	1,629	1,580	1,497

就援率

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	26.6%	23.2%	21.4%	20.6%	20.8%	20.0%
中学校	27.5%	27.4%	26.3%	25.9%	24.6%	22.2%
合計	26.9%	24.6%	23.0%	22.3%	22.0%	20.7%

5.富田林市奨学金

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
支給者（人）	118	160	118	119	117	
申請者数（人）	206	166	210	225	260	

6.全国学力・学習状況

全国学力・学習状況調査 国語Aの正答率

（ ）大阪府平均

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	60.0(60.0)	－	61.6(63.2)	63.0(64.0)	66.0(66.0)	63.0(66.0)
中学校	71.0(70.0)	－	63.9(62.0)	69.0(67.0)	67.0(68.0)	58.0(57.0)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Aの正答率

（ ）大阪府平均

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	65.7(66.4)	－	68.7(69.7)	63.0(63.0)	64.0(62.0)	59.0(63.0)
中学校	60.0(58.1)	－	57.2(55.5)	53.0(51.0)	50.0(50.0)	52.0(51.0)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」（抜粋）

「人の役に立つ人間になりたい」

（ ）大阪府平均

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	94.1(94.7)	－	95.7(95.0)	96.0(94.4)	95.1(95.0)	71.2(70.5)
中学校	93.9(93.0)	－	94.6(94.4)	94.3(94.3)	93.0(94.1)	69.7(68.6)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」（抜粋）

「自分には、よいところがあると思いますか」

（ ）大阪府平均

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	76.8(77.9)	－	75.9(74.3)	78.5(78.3)	86.0(82.2)	51.3(49.2)
中学校	72.0(68.4)	－	73.3(72.5)	72.7(75.2)	81.1(77.7)	39.3(40.1)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」 (抜粋)

「何事にも、失敗をおそれず挑戦する」

() 大阪府平均

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	79.6(77.8)	－	70.1(68.3)	72.5(70.2)	－	－
中学校	72.7(69.0)	－	63.9(64.6)	68.9(67.3)	－	－

7. 小学校、中学校の不登校の状況

(千人率)

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	6.8	9.6	9.4	12.0	12.8	20.1
中学校	54.4	57.3	66.6	72.3	67.3	70.0

8. スクールカウンセラーの相談件数 (のべ人数)

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	925	1,019	2,058	2,647	3,152	5,091
中学校	3,070	5,990	6,603	4,379	5,537	5,233

9. 中学校給食 喫食率の推移

	喫 食 率 (%)					開始時期	R6年度実施 日数（日）	生徒数（人） R6年5月1日
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
葛城中学校	59.3	55.3	54.8	57.7	65.9	H19年1月	156	230
明治池中学校	80.8	78.2	78.0	80.8	79.5	H22年1月	151	242
第三中学校	50.8	49.1	47.1	50.1	52.3	H22年1月	149	290
喜志中学校	53.0	55.0	52.8	65.8	68.8	H22年2月	159	271
第二中学校	36.8	39.9	39.3	40.0	48.0	H22年3月	155	250
藤陽中学校	63.7	65.6	69.8	70.8	76.1	H23年1月	157	322
第一中学校	35.5	31.7	30.7	34.1	40.3	H23年2月	148	311
金剛中学校	55.1	53.8	53.1	62.8	68.3	H23年2月	154	430
全 校	53.2	52.5	52.3	57.3	62.7	—	178	2,346

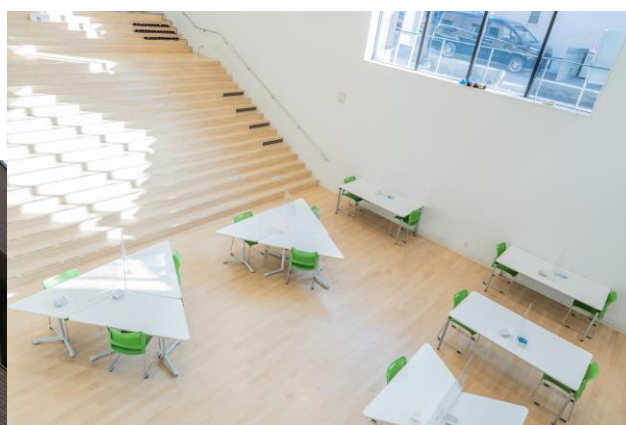
10. すばるホール施設利用状況

(利用率＝利用日数／利用可能日数)

項 目	R2年度			R3年度			R4年度			R5年度			R6年度		
	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数
ホール	100	44.3%	13,440	147	63.7%	26,787	153	53.8%	26,787	189	62.2%	43,863	160	55.7%	48,867
小ホール	184	61.0%	7,751	228	68.8%	11,868	326	84.7%	11,858	348	92.2%	25,757	352	92.3%	25,427
ビブスホール	81	37.0%	12,417	117	55.2%	19,019	19	12.9%	19,019	-	-	-	-	-	-
会議室1	200	63.3%	2,249	201	66.4%	1,982	268	74.8%	1,982	310	81.6%	3,445	316	80.1%	3,372
会議室2	210	59.5%	2,144	224	61.0%	2,415	343	73.1%	2,415	345	75.7%	10,913	285	71.0%	10,288
会議室3	76	28.1%	1,220	93	34.9%	1,807	170	55.0%	1,807	163	53.0%	11,214	156	51.2%	10,379
リハーサル室	251	71.0%	9,047	321	80.7%	11,668	335	83.5%	11,668	348	84.9%	15,407	340	81.4%	16,526
展示室	70	28.4%	2,906	83	33.6%	6,651	140	33.6%	6,651	166	55.6%	21,893	149	48.7%	21,882
加圧ルーム	200	62.5%	2,726	238	75.4%	2,937	329	84.2%	2,937	299	75.3%	3,904	303	71.1%	3,922
音楽練習室	36	21.8%	287	101	32.0%	622	209	52.6%	662	304	65.5%	3,426	333	66.5%	3,901
合 計	1,408	47.7%	54,187	1,753	57.2%	85,756	2,292	60.8%	85,786	2,472	71.8%	139,822	2,394	68.7%	144,564

11.きらめき創造館利用状況

項 目	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
スタジオ1	175	1,177	284	1,662	359	2,920	270	2,233	278	2,425
スタジオ2	15	43	0	0	64	183	91	290	102	336
グループ活動室A	92	516	111	726	119	757	126	927	158	1432
グループ活動室B	32	165	53	270	50	346	44	333	24	161
グループ活動室A+B	502	7,058	398	5,772	480	7,733	371	6,536	316	5,679
グループ活動室C	137	334	165	383	210	458	221	533	221	490
ワーキングルーム	310	1,929	229	1,386	286	1,817	260	1,728	241	1,484
スタジオ	0	0	515	2,856	770	3,861	657	3,174	654	3,412
交流スペース	6	158	4	25	-	7,110	-	7,839	-	10,887
自習室	-	12,502	-	14,701	-	20,352	-	22,659	-	24,400
合 計	1,269	23,882	1,759	27,781	2,338	45,537	2,040	46,252	1,994	50,706



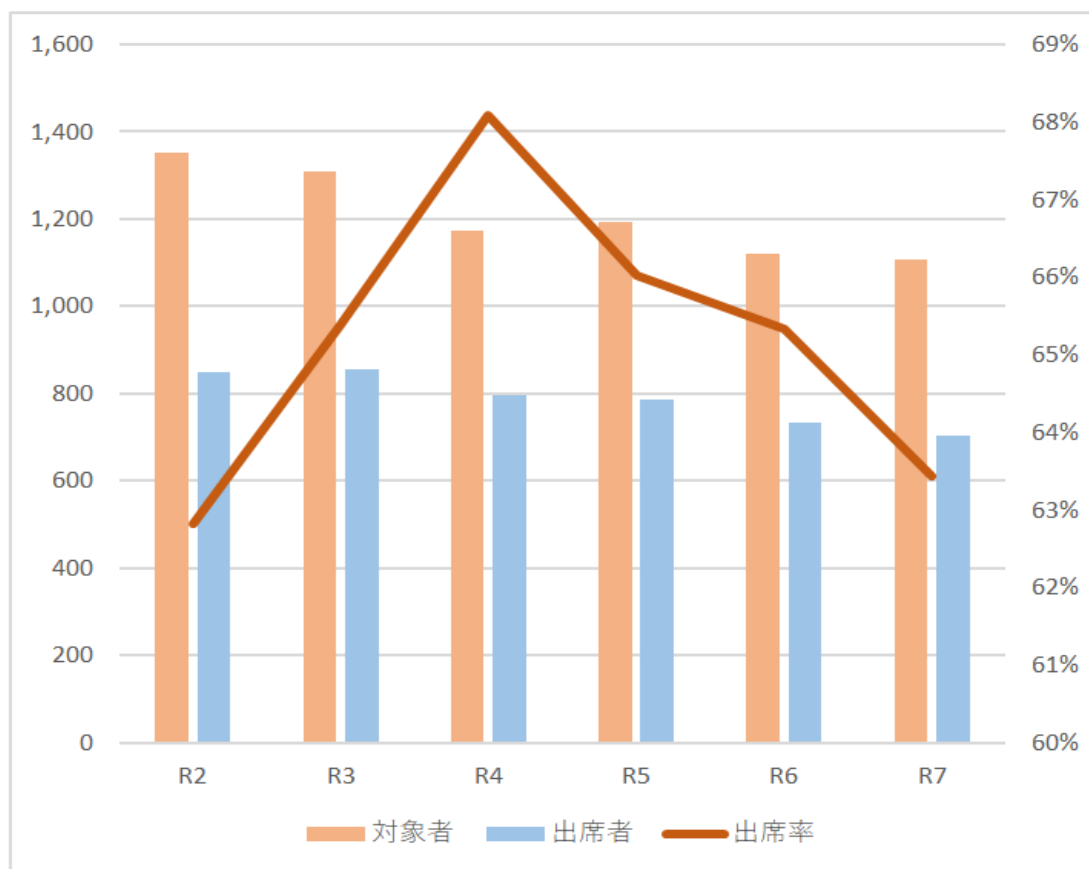
12.放課後子ども教室 参加状況

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
富田林	回 数	23	22	24	0	0	6	8	7
	参加児童数	629	594	738	0	0	137	499	391
	在籍児童数	323	306	327	338	348	370	384	371
新堂	回 数	10	8	7	0	16	27	12	8
	参加児童数	206	213	212	0	179	341	116	80
	在籍児童数	412	388	357	321	324	307	306	304
喜志	回 数	6	8	7	0	33	44	19	13
	参加児童数	282	207	126	0	507	520	308	327
	在籍児童数	439	421	401	397	384	376	373	369
大伴	回 数	16	15	14	0	77	45	47	4
	参加児童数	624	620	612	0	3,083	2,240	1,900	73
	在籍児童数	449	434	409	411	398	374	346	323
彼方	回 数	11	13	13	0	0	17	0	0
	参加児童数	435	528	667	0	0	264	0	0
	在籍児童数	236	211	216	209	206	205	219	207
錦郡	回 数	15	17	15	0	14	9	4	2
	参加児童数	690	823	621	0	221	148	58	23
	在籍児童数	278	250	237	242	219	229	216	207
川西	回 数	22	14	16	0	0	0	0	0
	参加児童数	748	380	412	0	0	0	0	0
	在籍児童数	342	318	314	283	275	265	284	289
東条	回 数	30	30	25	0	0	9	1	0
	参加児童数	531	491	322	0	0	58	5	0
	在籍児童数	99	91	91	77	73	79	75	71
高辺台	回 数	12	11	8	0	21	0	0	2
	参加児童数	507	366	290	0	322	0	0	8
	在籍児童数	158	161	173	157	159	154	186	186
久野喜台	回 数	18	17	13	0	5	0	0	3
	参加児童数	859	764	802	0	84	0	0	55
	在籍児童数	312	309	301	293	318	336	340	357
寺池台	回 数	21	18	16	0	8	2	1	4
	参加児童数	1,324	1,188	824	0	74	16	15	83
	在籍児童数	518	537	538	559	558	542	482	462
伏山台	回 数	21	14	10	0	0	0	0	0
	参加児童数	597	412	300	0	0	0	0	0
	在籍児童数	300	288	280	260	241	212	184	166
喜志西	回 数	24	25	23	0	0	0	0	0
	参加児童数	582	584	462	0	0	0	0	0
	在籍児童数	283	283	263	250	240	239	213	201
藤沢台	回 数	28	31	31	0	0	0	0	0
	参加児童数	884	1,313	1,123	0	0	0	0	0
	在籍児童数	416	437	455	446	434	424	383	371
小金台	回 数	21	14	13	0	0	0	7	15
	参加児童数	1,194	927	811	0	0	0	97	226
	在籍児童数	487	499	494	478	474	461	409	390
向陽台	回 数	36	29	19	0	0	0	0	0
	参加児童数	926	892	642	0	0	0	0	0
	在籍児童数	241	263	289	302	328	341	382	387
合計	回 数	314	286	254	0	174	159	99	58
	参加児童数	11,018	10,302	8,964	0	4,470	3,724	2,998	1,266
	在籍児童数	5,293	5,196	5,145	5,023	4,979	4,914	4,782	4,661

13.出前講座 開催状況

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
回 数	91	100	90	82	20	40	60	60	60

14.はたちのつどい 参加状況



	R2	R3	R4	R5	R6	R7
対象者	1,353	1,309	1,172	1,192	1,122	1,108
出席者	850	856	798	787	733	703
出席率	63%	65%	68%	66%	65%	63%



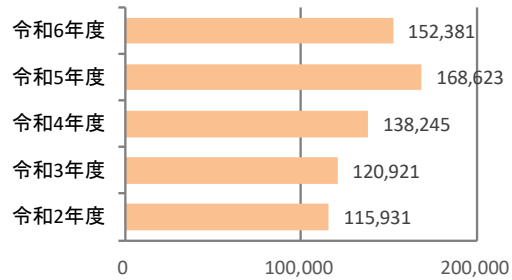
15.市民文化祭 参加者状況（人）

行 事 名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
コーラス・フェスティバル	中止	中止	250	750	778
市民美術工芸展	中止	167	159	1,424	1,309
三絃・箏・尺八演奏会	中止	中止	86	172	223
民謡大会	中止	57	56	68	86
謡曲大会	中止	中止	50	50	50
吟詠大会	中止	中止	119	120	90
ミュージック フェスティバル	中止	中止	100	230	262
茶華道大会	中止	67	61	361	422
川柳大会	中止	287	81	87	94
市民舞踊会	中止	65	67	383	399
郷土文化大会	50	37	40	86	62
芸能フェスティバル	中止	110	106	70	中止
ダンスフェスティバル	中止	111	173	592	614

16. スポーツ施設利用状況

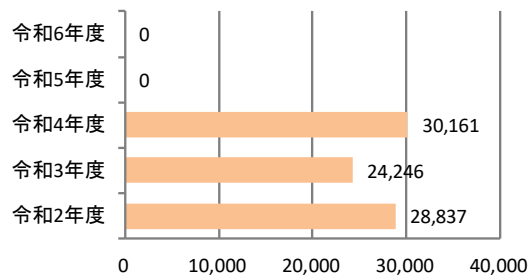
市民総合体育館

利用人数

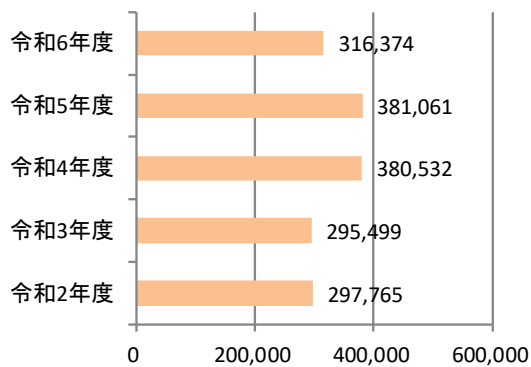


青少年スポーツホール

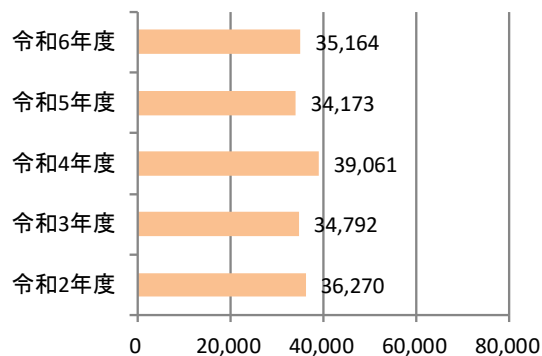
利用人数



グラウンド 利用人数

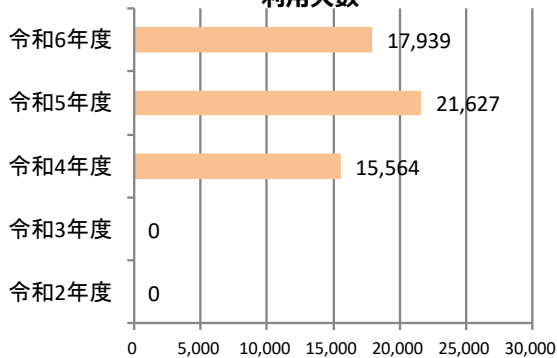


テニスコート 利用人数



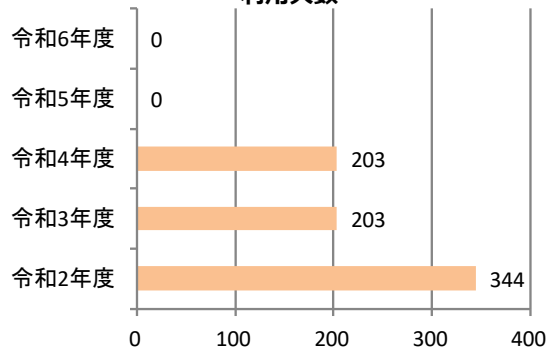
市営プール

利用人数

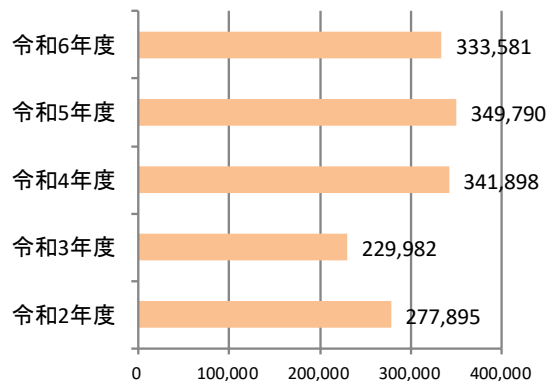


青少年教育キャンプ場

利用人数

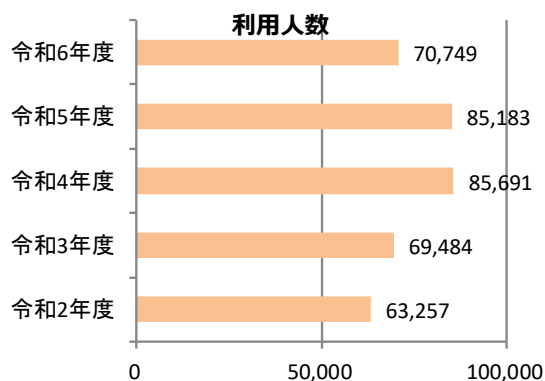


学校体育施設 利用人数



総合スポーツ公園

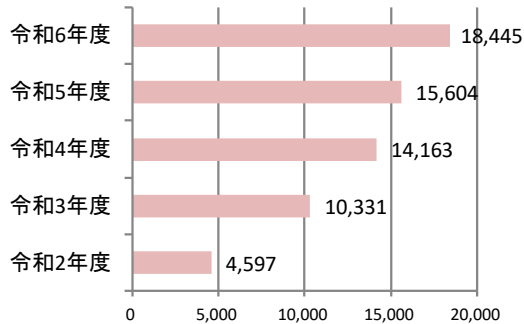
利用人数



17. スポーツ事業参加状況

スポーツ教室

参加者数



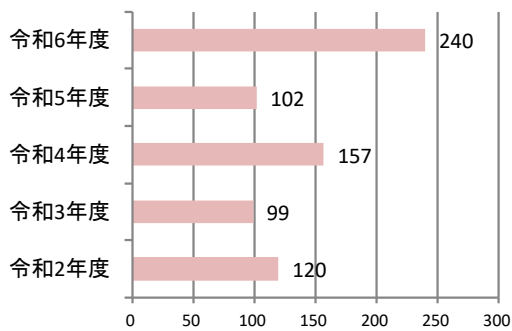
※注

スポーツ教室は、H26年度までは、前期（10回シリーズ）・後期（10回シリーズ）の実施で、申込者数の集計。

H27年度途中からは、各教室が通年開催（毎週1回開催）となったため延べ参加者数の集計。

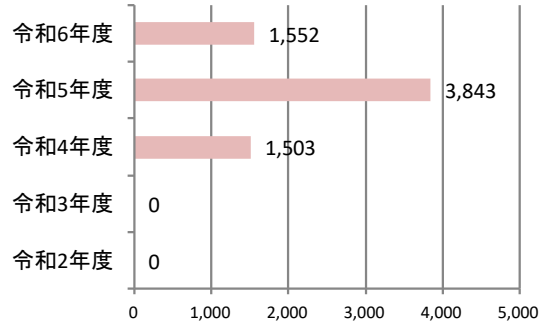
ジュニア・スポーツリーダー・

スクール参加者数



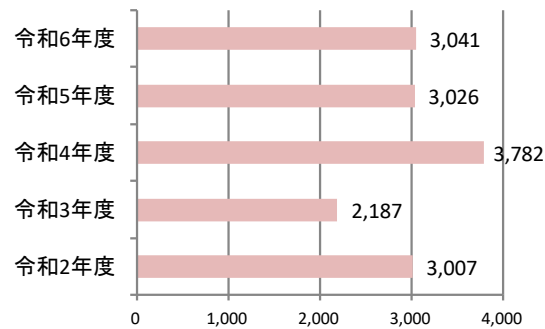
ドリームフェスティバル

参加者数



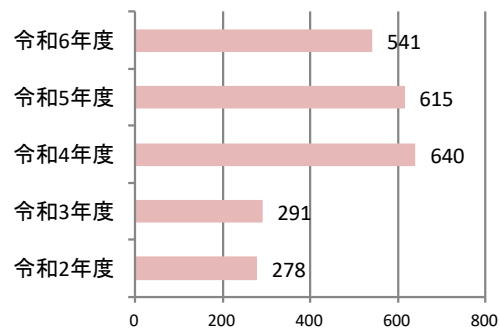
市民体育大会

参加者数



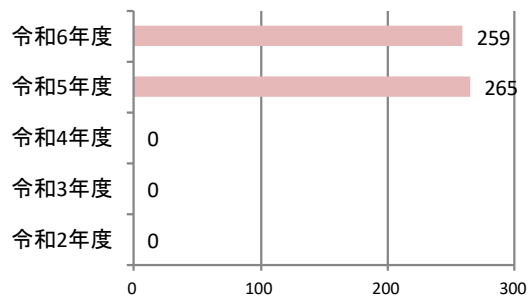
スポーツ・レクリエーション祭

参加者数



市民マラソン大会

参加者数



18. 市内の文化財

【国指定（選定）文化財】			(令和7年3月31日現在)		
種類	種別	名称	指定年月日	所在地	備考
有形文化財	重要文化財	にしこおりじんじゃほんでん 錦織神社本殿	昭25. 8. 29	宮甲田町9-46	室町中期
		せつしやかすがしやほんでん (錦織神社) 摂社春日社本殿	昭44. 6. 20	〃	室町後期
		せつしやてんじんしやほんでん (錦織神社) 摂社天神社本殿			
		りゅうせんじ におうちん 龍泉寺仁王門	昭36. 3. 23	大字龍泉888	鎌倉中期
		きゅうすぎやまけじゅうたく 旧杉山家住宅	昭58. 12. 26	富田林町14-31	江戸前期
		とんだばやしこうしやうじべついんほんどう たいめんしや しやうろう こうろ さんもん おな 富田林興正寺別院本堂・対面所・鐘楼・鼓楼・山門・御 成門 附 築地堀3棟	平26. 9. 18	富田林町13-18	江戸前期
記念物	美術工芸品	たきだにふどうみょうおうし ちくもくそふどうみょうおう おおびにどうじりつぞう 瀧谷不動明王寺 木造不動明王 及 二童子立像	昭31. 6. 28	大字彼方1762	平安中期
		たんとう むめいまさむね めいぶつ ふし しまさむね つけたりこしがたなこしらえ 短刀 無銘正宗 (名物 伏見正宗) 附腰刀拵	昭28. 11. 14	(非公開)	鎌倉
	史跡名勝天然記念物 (名勝)	りゅうせんじていえん 龍泉寺庭園	昭56. 5. 11	大字龍泉888	7世紀中期
	重要美術品 (旧法)	せきぞうじゅうさんじゅうとう 石造十三重塔	昭10. 5. 20	東板持町二丁目 地内	鎌倉後期
	史跡名勝天然記念物 (史跡)	しんどうはいじあと つけたり いけかわらがまあと かめいしこふん 新堂廃寺跡 附 オガンジ池瓦窯跡・お亀石古墳	平14. 12. 19	緑ヶ丘町の一部 大字中野の一部	7世紀前期
	伝統的建造物群	とんだばやししんとんだばやしじゅうよう でんとうてきけん そうぶつぐんほぞんちく 富田林市富田林重要 伝統的建造物群保存地区	平9. 10. 31 平30. 8. 17 (追加)	富田林町の一部 本町の一部	16世紀中期～

【国登録有形文化財】			登録年月日	所在地	備考	
指定種別						
建造物	くずはらけじゅうたく 葛原家住宅	みなみくずはら べつてい (南葛原 別邸)	しゅおく そうこ 主屋・倉庫	平10. 4. 21	常盤町	大正13年
	すぎたけじゅうたく 杉田家住宅	しゅおく くら 主屋・蔵		平12. 12. 4	本町	昭和4年
	なかうちがんかいいん 中内眼科医院			平13. 4. 24	富田林町	大正13年頃
	とんだばやしりつかわにししょうがっこう 富田林市立川西小学校	きょういくれきしりょうしつ 教育歴史資料室		平13. 11. 20	新家一丁目3-1	昭和10年
	いわねけじゅうたく 岩根家住宅	しゅおく おくざしき さかぐら 主屋・奥座敷・酒蔵		平20. 4. 18	五軒家二丁目	江戸末期他
	いわねけじゅうたく 岩根家住宅	みなみぐら ちゃしつ ちんや かんごべい 南蔵・茶室・門屋・龍堀		平27. 11. 17		
	とうかじゅくほんかん 桃花塾本館・教室	きょうしつ とう 棟		平21. 4. 28	大字喜志2067-5他	昭和8年
	きゅうたなかけじゅうたく 旧田中家住宅	しゅおく いぬいぐら 主屋・乾蔵		平25. 6. 21	本町7-2	明治25年

【大阪府指定文化財】				
指定種別		指定年月日	所在地	備考
彫刻	りゅうせんじちくぞうこんごうりきしぞうに たい 龍泉寺木造金剛力士像二軀	昭49. 3. 29	大字龍泉888	鎌倉
	りゅうせんじちくぞうしやうとくたいしりつぞうほか 龍泉寺木造聖徳太子立像他	昭51. 3. 31	〃	南北朝
	じょうこくじせきぞうじぞうぼさつりつぞう 浄谷寺石造地藏菩薩立像	昭45. 2. 20	富田林町7－1 2	鎌倉
	にこりてい 水郡邸	昭48. 3. 29	甲田二丁目	18世紀後期
史跡	ひがしこうやかいどうにしこおりいちりづか 東高野街道錦織一里塚	昭45. 2. 20	錦織東三丁目 7-1、他	17世紀初期
	つづやまごふんおよ へほんまつごふん 甘山古墳及び二本松古墳	平11. 2. 5	大字甘山20-33 他	4世紀後半
工芸品	たきだにふどうみょうおうじこんどうほうしゅれい 瀧谷不動明王寺金銅宝珠鈴	昭56. 6. 1	大字彼方1762	平安後期
建造物	なかむらけじゅうたく 仲村家住宅	平2. 3. 2	富田林町	江戸中期
有形民俗	さいごくじゅんれい さんじゅうさん どぎょうじや かんけい しりょう とんだばやしぐみ 西国巡礼三十三度行者関係資料 1 1点（富田林組）	平7. 12. 13	富田林町7-12 （浄谷寺）	
	さいごくじゅんれい さんじゅうさん どぎょうじや かんけい しりょう うれしくみ 西国巡礼三十三度行者関係資料 7点（嬉組）	平10. 2. 4	嬉（嬉共有）	

【富田林市指定文化財】			指定年月日	所在地	備考
指定種別					
有形文化財	歴史資料	とんだばやしじないまちえず しきいつかつ 富田林寺内町絵図 7鋪一括	平31. 4. 24	常盤町1-1	江戸中期他
		かわらすいへいしやけいあんき 河内水平社荊冠旗	令6. 6. 27	(非公開)	近代 (大正)
	考古資料	つづやまみなみこふんしゅつどい ぶついつかつ 甘山南古墳出土遺物一括	令2. 3. 30	常盤町1-1	6世紀前半
		なかむらけもんじょ つけたり しよせき ほんぎ いんかん うじこふだ しゅぞうかんけいとうしやうさつあい 仲村家文書 附 書籍、板木、印鑑、氏子札、酒造関係等証札類	令2. 3. 30	常盤町1-1 富田林町16-31	江戸～ 明治他
民俗文化財	有形のもの	ちやうせんつうしんしよどがわご ぎふねす え ま 朝鮮通信使淀川御座船図絵馬	令4. 5. 26	宮町三丁目2053 (美具久留御魂 神社神社)	江戸前期
天然記念物		おおさかそうぐんしゅつどちやうびんいきばかせき 大阪層群出土長鼻類切歯化石	令6. 6. 27	寿町一丁目3-5	前期更新世

※所在地について、個人所有については町名のみ表示

19. 公民館利用状況等

	項 目	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中 央 公 民 館	1 主催講座延べ開催数	155	129	136	166	163	180
	2 主催講座学習者数（人）	4,453	1,593	2,031	2,229	2,496	3,199
	3 イベントその他の事業延べ開催数	14	7	11	21	55	131
	4 公民館クラブ数	46	46	46	47	46	48
	5 公民館クラブ員数	749	730	744	755	745	713
	6 年間施設利用件数	2,089	1,661	1,633	2,110	2,030	2,437
	7 年間施設利用者数	25,922	17,567	18,128	24,626	23,624	27,921
	8 施設年間平均稼働率（%）	40	34	33	36	35	42
東 公 民 館	1 主催講座延べ開催数	76	39	69	52	56	41
	2 主催講座学習者数（人）	1,102	456	866	1,013	693	445
	3 イベントその他の事業延べ開催数	11	4	5	10	10	12
	4 公民館クラブ数	33	31	29	30	30	30
	5 公民館クラブ員数	412	370	382	340	387	400
	6 年間施設利用件数	1,326	1,066	1,022	1,294	1,373	1,386
	7 年間施設利用者数	18,664	11,415	11,629	14,815	16,019	15,450
	8 施設年間平均稼働率（%）	36	31	29	31	33	33
金 剛 公 民 館	1 主催講座延べ開催数	64	94	67	46	44	32
	2 主催講座学習者数（人）	1,039	1,348	1,348	1,092	592	413
	3 イベントその他の事業延べ開催数	14	8	4	5	31	16
	4 公民館クラブ数	56	57	56	56	55	55
	5 公民館クラブ員数	881	890	811	780	821	827
	6 年間施設利用件数	2,581	1,963	2,019	2,366	2,608	2,123
	7 年間施設利用者数	37,999	21,922	23,476	29,251	31,421	27,471
	8 施設年間平均稼働率（%）	48	39	39	42	43	35

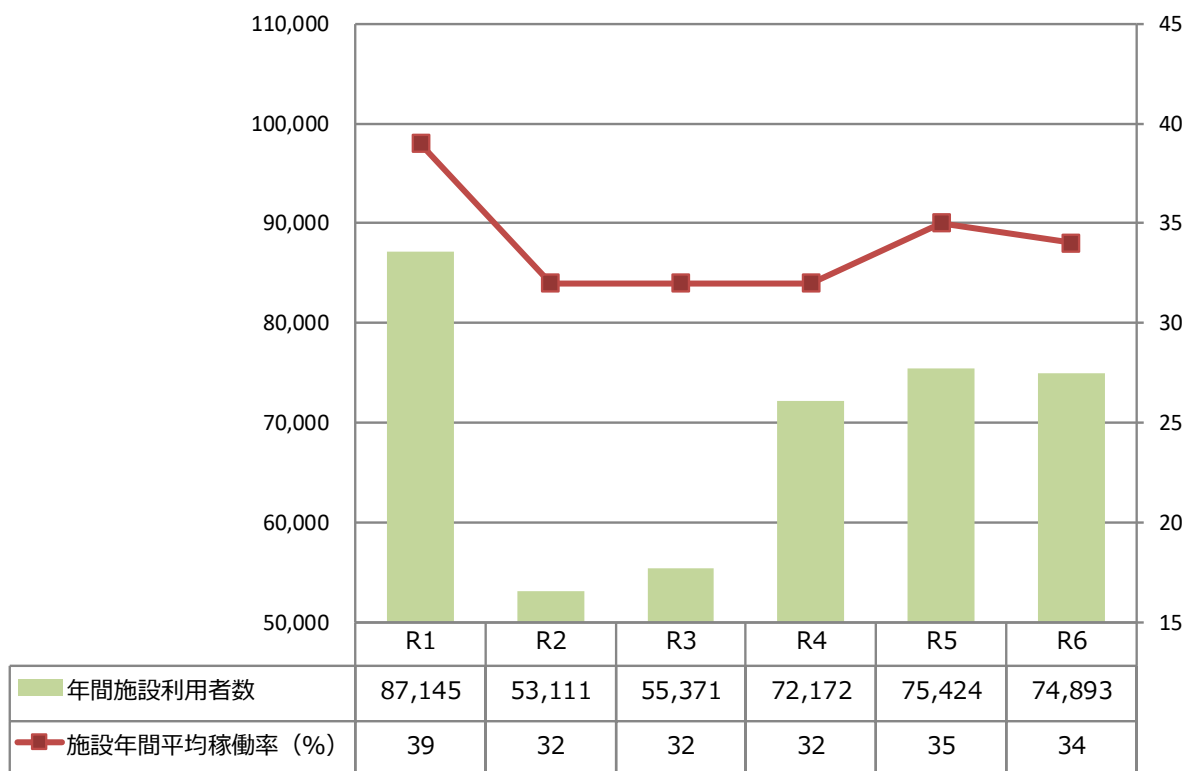
	項 目	R1	R2	R3	R4	R5	R6
喜 志 分 館	1 年間施設利用件数	475	320	325	395	433	398
	2 年間施設利用者数	4,560	2,207	2,138	3,480	4,360	4,051
	3 施設年間平均稼働率 (%)	21	15	15	15	17	16
総 合 計	1 主催講座延べ開催数	295	262	272	264	263	253
	2 主催講座学習者数 (人)	6,594	3,397	4,245	4,334	3,781	4,057
	3 イベントその他の事業延べ開催数	39	19	20	36	96	159
	4 公民館クラブ数	135	134	131	133	131	133
	5 公民館クラブ員数	2,042	1,990	1,937	1,875	1,953	1,940
	6 年間施設利用件数	6,471	5,010	4,999	6,165	6,444	6,344
	7 年間施設利用者数	87,145	53,111	55,371	72,172	75,424	74,893
	8 施設年間平均稼働率 (%)	39	32	32	32	35	34

(稼働率 = 年間利用件数 / 年間利用可能区分)

利用区分 = 1日3区分、但し日曜日は2区分)

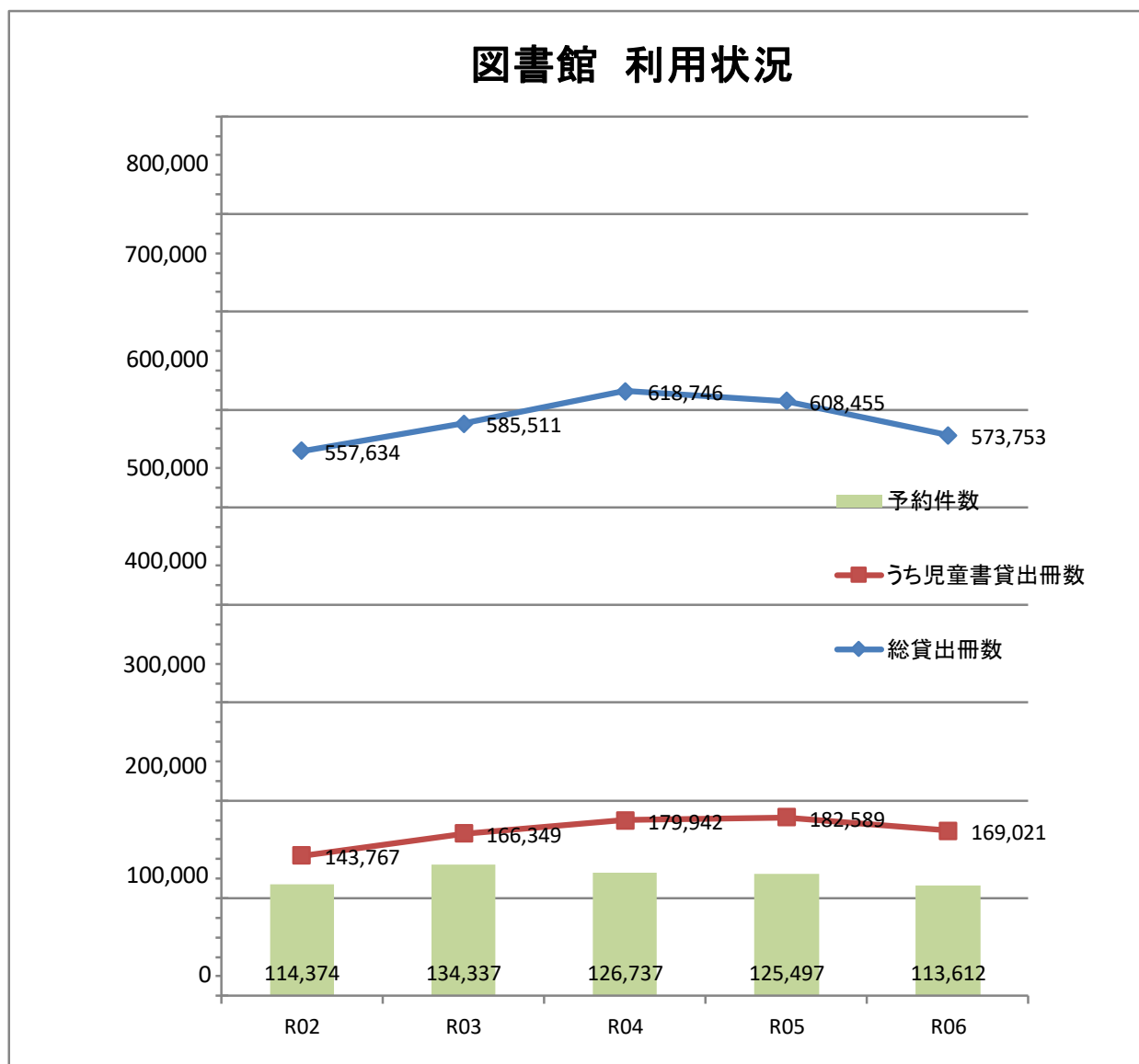
※金剛ホールは平日4区分

年間施設使用者数・平均稼働率



20.図書館 利用状況

	総貸出人数	総貸出冊数	うち児童書貸出冊数	予約件数	録音図書等延貸出人数	ブックスタート配布絵本冊数
R02	170,427	557,634	143,767	114,374	195	598
R03	180,013	585,511	166,349	134,337	0	516
R04	191,963	618,746	179,942	126,737	1	524
R05	189,714	608,455	182,589	125,497	1	534
R06	175,244	573,753	169,021	113,612	1	425





SDGs 未来都市

富田林

ACT FOR 2030

発行 富田林市教育委員会

編集 教育総務部 教育総務課

〒584-8511 富田林市常盤町1番1号

電話 0721-25-1000

E-mail kyouikusomu@city.tondabayashi.lg.jp